

平成28年度

草 加 の 教 育



新田中学校区の小中連携



自然教室30周年記念式典

草加市教育委員会

草 加 市 民 憲 章

わたくしたち草加市民は、綾瀬の流れと松原をシンボルとして、おおきな夢をはぐくんできました。

人の心をたいせつにし、自然をいかした住みよいふるさとをめざして、ここに憲章をさだめます。

わたくしたちは

- 1 平和を愛し、文化的で、
ゆたかなまちをつくれます。
- 1 きまりを守り、安全で、
せいけつなまちをつくれます。
- 1 健康に努め、親切で、
さわやかなまちをつくれます。

(昭和63年11月1日制定)



市章（昭和33年11月1日制定）

「笑顔かがやく草加の教育」をめざして

教育長 高 木 宏 幸

草加市教育委員会は、平成24年3月に第一次草加市教育振興基本計画『笑顔かがやく草加教育プラン』を策定し、「生きる力を共に教え育てる草加の教育」を基本理念として掲げ、学校・家庭・地域が連携し、15の教育施策を推進してきました。

そして、平成28年度からは、第一次計画の基本理念を継承した第二次草加市教育振興基本計画が、新たにスタートしました。また、草加市の将来を見据えた第四次草加市総合振興計画もスタートし、今後も、めざす都市像「快適都市～地域の豊かさの創出～」の実現に向かって、第二次草加市教育振興基本計画に基づき、確かな学力を育成し、心豊かでたくましい子どもを地域社会ではぐくみ、生涯にわたり学習できるまちづくりを目指し、様々な施策に取り組んでまいります。

子ども教育の連携の推進においては、第二次草加市子ども教育連携推進基本方針・基本計画に基づき、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校・中学校と家庭・地域との連携を一層強化し、子どもたちの育ちにふさわしい、柔軟かつ効果的な教育に取り組めます。

学校教育においては、最重要課題である学力向上への取組として、市独自の学力・学習状況調査の実施により児童生徒の学力を把握し、日々の授業充実と改善を進めます。また、本年度からは、学習機会の拡充や、土曜日における児童生徒の有意義な過ごし方の支援を目的とする「土曜授業」を実施します。さらに、学習環境の一層の充実を図るため、ICT教育環境の整備や、トイレ環境改善のための改修を順次進めます。

生涯学習においては、市民と行政との協働により、「学びの環境づくり」「学びの輪を広げる」「学びをいかす人づくり」の3つの施策に沿って各種事業を推進するとともに、草加松原を計画的に未永く保存・活用していくため、国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」保存活用計画を策定します。

人権教育においては、学校や社会における多様な機会をとおして人権を大切にしよう教育を推進し、一人ひとりの基本的人権を尊重する意識の醸成・定着・高揚に努めます。

ここに発行する『草加の教育』は、草加市教育委員会が取り組む施策をまとめたものであり、今年度の事業内容や、昨年度の実績等を掲載しています。本市教育行政の全体像を皆様にご高覧いただき、より一層のご理解を賜いますとともに、幅広くご活用いただければ幸いに存じます。

目 次

草加市民憲章・市章

「笑顔かがやく草加の教育」をめざして

教育委員会教育長・教育長職務代理者・教育委員・
教育委員長

歴代教育委員会教育委員長・教育委員・教育長

I 教育行政・教育財政

平成28年度草加市教育委員会教育方針 …… 7

平成28年度草加市教育行政重点施策 …… 9

平成28年度教育予算 …… 10

教育委員会の組織 …… 11

教育委員会の事務分掌 …… 11

II 子ども教育

「子ども教育」の連携を推進 …… 17

入学準備金・奨学資金の貸付制度 …… 18

外国人学校児童生徒保護者補助金制度 …… 18

計画的な学校教育施設整備の推進 …… 19

自然教室 …… 19

教育施設の紹介 …… 20

学校図書館教育 …… 21

国際理解教育 …… 21

情報教育 …… 22

環境教育 …… 23

教職員の研究・研修 …… 24

生徒指導 …… 25

教育相談 …… 26

特別支援教育 …… 28

学校給食 …… 30

学校保健 …… 32

市立小学校の紹介 …… 34

市立中学校の紹介 …… 40

III 生涯学習

地域の力をはぐくむ生涯学習活動の推進 …… 45

文化遺産の保存と活用 …… 46

生涯学習施設の紹介 …… 47

草加市立中央図書館 …… 50

IV 人権教育

人権教育 …… 55

V 資料編

草加の教育の沿革 …… 59

草加市の指定文化財 …… 64

教育委員会関係附属機関委員 …… 68

学校教育関係等一覧 …… 70

児童・生徒数等の推移 …… 71

教職員の年齢構成・男女比 …… 72

学校概要 …… 73

小・中学校施設状況 …… 74

教育委員会教育長・教育長職務代理者・教育委員・教育委員長

(平成28年4月1日現在)

氏 名	教 育 長	教育長職務代理者	教 育 委 員	教 育 委 員 長
	在任期間	在任期間	任 期	在任期間
たかぎ ひろゆき 高 木 宏 幸	H23. 4. 1～H27. 3.31 H27. 4. 1～H30. 3.31		H23. 4. 1～H27. 3.31	
むらた よしかず 村 田 悦 一		H27. 4. 1～H28. 3.31 H28. 4. 1～H28. 9.30	H23. 4. 1～H24. 9.30 H24.10. 1～H28. 9.30	H26. 4. 1～H27. 3.31
いで けんじろう 井 出 健治郎			H17.10. 1～H18.12.31 H19. 1. 1～H22.12.31 H23. 1.25～H27. 1.24 H27. 1.25～H31. 1.24	H21.10. 1～H22. 9.30 H22.10. 1～H22.12.31 H23. 1.25～H24. 1.24 H24. 1.25～H25. 1.24
おざわ なおひさ 小 澤 簡 久			H24. 1. 1～H27.12.31 H28. 1. 1～H31.12.31	
かとう ゆみ 加 藤 由 美			H24.10. 1～H28. 9.30	
うだがわ くみこ 芋田川 久美子			H26. 4. 1～H30. 3.31	

歴代教育委員会教育委員長・教育委員・教育長

(地方教育行政の組織及び運営に関する法律施行後)

氏 名	教育委員長		教育委員		教育長	
	就任年月日	退任年月日	就任年月日	退任年月日	就任年月日	退任年月日
藤 波 武 義	S32. 1. 9	S35. 9. 9	S31.10. 1	S35. 9.30		
岡 野 仁右衛門			S31.10. 1	S42.12.31		
浅 古 光 藏			S31.10. 1	S43. 9.30		
池 田 俊 三	S44. 1. 9	S45. 1. 8	S31.10. 1	S48. 9.30		
	S48. 1.10	S48. 9.30				
田 中 捷一郎			S31.10. 1	S46. 9.30	S31.10. 1	S46. 9.30
中 島 長太郎	S36. 1. 9	S43.12.19	S35.12.20	S43.12. 9		
宮 本 忠 藏	S45. 1. 9	S45. 9.30	S43. 4. 1	S45. 9.30	S47. 1.14	S49.10. 4
	S45.10.24	S46. 1.11	S45.10. 5	S49.10. 4	S50. 1. 9	S53.12.31
			S50. 1. 1	S53.12.31		
上 山 良 一	S46. 1.12	S47. 1. 7	S43.12.25	S47.12.24		
	S49. 1.11	S52. 1.10	S48. 3. 1	S52. 2.28		
	S52. 1.22	S52. 2.28				
二階堂 重 信	S47. 1. 8	S47.12.24	S43.12.25	S47.12.24		
倉 林 誠一郎			S46.12.24	S50.12.23		
加 藤 正 一			S48. 3. 1	S49.12.31		
若 旅 吉一郎			S49. 1. 1	S52.12.31		
藤 盛 正 規	S52. 4.23	S53. 4.22	S51. 1. 1	S54.12.31		
佐々木 正 勇			S51. 6.21	S55. 6.20		
野 口 康 司	S53. 4.23	S54. 3.31	S53. 1. 1	S56.12.31	S54. 4. 1	S56.12.31
小 澤 博	S54. 4. 1	S56.12.31	S53. 4. 1	H5. 6.30	S57. 1. 1	H5. 6.30
藤 波 壽	S59. 1. 1	S61.12.31	S54. 7. 1	S62. 6.30		
竹 澤 義 郎	S62. 1. 1	S62.12.31	S55. 1.17	S63. 1.16		
浅 古 正 三	S57. 1. 1	S58.12.31	S55. 8.12	S63. 8.11		
小 山 利 男	S63. 1. 1	H1. 12.31	S57. 4. 1	H2. 3.31		
渦 尾 延之助	H2. 1. 1	H2. 12.31	S62.10. 1	H3. 9.30		
桂 保 平			S63. 4. 1	H4. 3.31		
鈴 木 昭 平	H3. 1. 1	H4. 9.30	S63.10. 1	H4. 9.30		
高 野 光 由	H4. 10. 1	H6. 3.31	H2. 4. 1	H10. 3.31		
	H8. 1.10	H10. 3.31				
藤 井 光 男	H6. 4. 1	H7. 12.31	H4. 1. 1	H7. 12.31		
神 白 高 子			H4. 6. 1	H12. 5.31		
定 道 成 美			H4. 10. 1	H8. 9.30		
常 田 種 雄			H5. 10.15	H10. 3.31	H 5.10.15	H10. 3.31
谷古宇 康 治	H10. 4. 1	H11.12.31	H8. 1. 1	H11.12.31		
會 田 勝 美			H8. 10. 1	H15. 3.31		
鳥谷部 志乃恵			H12. 7. 1	H16. 6.30		
牛 山 信 康	H12. 1.19	H14. 1.18	H11. 1. 1	H17. 4.22		
	H17. 1.19	H17. 4.22				
若 林 誠 満	H14. 1.19	H17. 1.18	H12. 1. 1	H19.12.31		
宮 嶋 昭 雄			H10. 4. 1	H22. 3.31	H10. 4.16	H22. 3.31
國 澤 正 和	H19. 5.24	H21. 9.30	H16.10. 1	H23. 3.31	H22. 4. 1	H23. 3.31
岩 永 嘉 仁			H20. 1. 1	H23.12.31		
浜 本 悦 子	H17. 5.24	H19. 5.23	H15. 4. 1	H24. 9.30		
西 田 敏 子	H25. 1.25	H26. 3.31	H22. 4. 1	H26. 3.31		

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、平成26年度をもって、教育委員長長の職は廃止されました。

I 教育行政・教育財政

平成 28 年度草加市教育委員会教育方針

教育は人格の完成を目指すとともに、心身ともに健康な国民の育成を期して行うことを目的とし、あらゆる機会にあらゆる場所で実現することが求められています。

この目的を達成するため、第二次草加市教育振興基本計画においても「生きる力を共に教え育てる草加の教育」を基本理念とし、学校・家庭・地域が互いに信頼し、絆を深め、連携して支え合い、「笑顔かがやく草加の教育」を目指します。

次代を担う子どもたちにとって必要な「生きる力」を支える確かな学力・豊かな心・健やかな体の調和を図るとともに、子どもたちのよさや可能性が発揮され、一人ひとりを大切にしたい信頼される学校教育を推進します。また、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校・中学校（以下「幼保小中」という。）と家庭・地域が連携し、地域社会が一体となって 0 歳から 15 歳までのすべての子どもの育ちをともに支える、子ども教育の連携を更に推進していきます。

また、市民一人ひとりが生涯にわたって主体的に学習する機会とその成果を発揮できる学習環境づくりを推進します。

学力の向上を最重要課題ととらえ、学校における日々の授業を充実させるための授業改善などを進めるとともに、全国学力・学習状況調査や埼玉県学力・学習状況調査、市独自の学力調査等の各種調査を活用し、家庭・地域と一体となって児童生徒が知識・技能、思考力、判断力、表現力を含めた確かな学力を身に付ける取組を行います。

幼保小中の連携を図りながら、学校の教育活動全体を通じた道徳教育を推進することを始め、いじめ・不登校などに対応する教育相談、問題行動の予防や解決を図るための積極的な生徒指導の充実を図ります。

子どもたちが明るく豊かで活力のある生活を営むために、元気に運動し、しっかり食事をとり、ぐっすり睡眠をとる、健康で体力のある児童生徒の育成を目指します。

幼保小中が、0 歳から 15 歳までの子どもの育ちをともに支えるため、これまでの交流・連携と「目指す『草加っ子』（草加市幼保小中教育指針）」

等、子ども教育プログラム実施の成果を生かし、「第二次草加市子ども教育連携推進基本方針・行動計画」に基づき、幼保小中を一貫した草加の教育の実施に向け、小中一貫教育モデル事業を実施します。

さらに、実効性を高めるため、家庭・地域とも十分に連携し、家庭教育への支援を図ります。

障がいのある児童生徒一人ひとりのよさや可能性を最大限に発揮できるよう、教育支援の充実に努め、特別支援教育について一層の啓発を図り、特別支援教育担当教員の育成及び指導力の向上に取り組みます。また、埼玉県立草加かがやき特別支援学校が担っているセンター的機能の活用をとおして、市内小中学校との連携を推進するなど、特別支援教育のさらなる充実を目指します。

老朽化した小・中学校の校舎等について、学習環境の改善に向け、トイレの改修や非構造部材耐震化など各種整備を順次進めます。

学校予算のより効果的かつ効率的な執行を推進し、特色ある学校経営を支援します。

市民一人ひとりが学ぶことをとおして「生きる力」をはぐくみ、人と人、人と地域が新たな絆をつくりだしていくことができるまち、「学^{がくえん}縁都市そうか」を推進します。

第二次草加市生涯学習基本構想・基本計画をもとに、市民との協働による多様な学習機会の創出、学習情報の提供を行うことによって生涯をとおした学習活動の推進体制の充実を図ります。

国指定名勝である「おくのほそ道の風景地草加松原」をはじめとする文化財の保存活用や今後の歴史民俗資料館のあり方等について計画策定に取り組み、文化的で魅力あるまちづくりに努めます。

一人ひとりの基本的人権が尊重され、平和で住み良い社会を実現するため、人権教育を推進します。

これからも教育の目的が十分達せられるよう、教育行政の課題をよりの確に把握し、子どもたち、学校、家庭、地域で市民一人ひとりが「笑顔かがやく草加の教育」を目指して、積極的に施策に取り組みます。

平成28年度草加市教育行政重点施策

草加市教育委員会は、第四次草加市総合振興計画第一期基本計画及び第二次草加市教育振興基本計画「笑顔かがやく草加教育プラン」を踏まえ、『生きる力を共に教え育てる草加の教育』の実現を目指し、教育行政重点施策を定めています。

○ 生きる力を育てる子ども教育の推進

1 一人ひとりの良さや可能性が発揮される

学校教育の推進

(1) 学ぶ力を伸ばす児童生徒の育成

- ◇ 草加っ子「生き生きプラン」推進事業
- ◇ 草加っ子「ステップアッププラン」推進事業
- ◇ 土曜学習推進事業
- ◇ 情報教育環境整備事業（小中学校）
- ◇ 英語教育・国際理解教育推進事業
- ◇ 教職員研修推進事業
- ◇ 学校教育補助員配置事業
- ◇ 教科書等整備事業
- ◇ 学力向上推進事業
- ◇ 教材教具整備事業（小中学校）
- ◇ 学校図書充実事業（小中学校）

(2) 心豊かな児童生徒の育成

- ◇ 教育相談充実事業
- ◇ 生徒指導推進事業
- ◇ いじめ撲滅推進事業
- ◇ 音楽教育推進事業
- ◇ 自然教室推進事業
- ◇ 豊かな心推進事業

(3) 健康でたくましい児童生徒の育成

- ◇ 学校体育推進事業
- ◇ 中学校部活動推進事業
- ◇ 就学時健康診断等事業
- ◇ 学校保健安全衛生・各種健康診断事業（小中学校）
- ◇ 学校医等の公務災害補償事務
- ◇ 放射線対策事業
- ◇ 学校給食推進事業（小中学校）
- ◇ 学校給食管理運営事業

(4) きめ細かな特別支援教育の充実

- ◇ 特別支援教育充実事業
- ◇ 特別支援教育就学奨励費補助事業（小中学校）

(5) 一人ひとりに応じた就学支援の充実

- ◇ 学校就学援助事業（小中学校）
- ◇ 入学準備金・奨学資金貸付事業
- ◇ 外国人学校児童生徒保護者補助事業

2 安全安心な教育環境整備の推進

(1) 計画的な学校教育施設整備の推進

- ◇ トイレ環境改善整備事業（小中学校）
- ◇ 学校施設維持管理事業（小中学校）
- ◇ 学校維持管理運営事業（小中学校）
- ◇ 学校管理備品整備事業（小中学校）
- ◇ エアコン設置事業（小中学校）
- ◇ 非構造部材耐震化事業（中学校）

(2) 魅力ある教育環境の推進

- ◇ 奥日光自然の家管理運営事業

3 学校・家庭・地域の連携の推進

(1) 家庭・地域の教育力の向上

- ◇ 学校応援団推進事業

(2) 組織力をいかした学校経営の推進

- ◇ 学校運営・就学事務事業
- ◇ 学校管理運営事業（小中学校）
- ◇ 特色ある学校経営推進事業（小中学校）

(3) 子ども教育の連携の推進

- ◇ 子ども教育連携推進事業
- ◇ 「草加っ子」を育む子ども教育連携教員配置事業

○ 生きる力をはぐくむ学^{がく}縁都市^{えん}そうかの推進

4 地域の力をはぐくむ生涯学習活動の推進

(1) 生涯をとおした多様な学習機会の充実

- ◇ 生涯学習推進体制整備事業
- ◇ そうか市民大学運営事業
- ◇ 大学公開講座等推進事業
- ◇ 新成人のつどい企画運営事業
- ◇ 子ども大学そうか事業

(2) 生涯学習施設の整備とネットワーク化の推進

- ◇ 公民館等事業
- ◇ 平成塾設置・管理運営事業
- ◇ 栄小学校施設一般開放事業
- ◇ 図書館情報サービス・管理運営事業

(3) 文化遺産の発掘・保存等の計画的継続的な取組の推進

- ◇ 文化遺産の発掘・保存・有効活用推進事業
- ◇ 国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」の保存・活用推進事業
- ◇ 歴史民俗資料館管理運営事業

○ 人権を尊重しあう教育の推進

5 人権教育の推進

(1) 学校人権教育の推進

- ◇ 学校人権教育推進事業

(2) 社会人権教育の推進

- ◇ 社会人権教育推進事業

平成28年度教育予算

平成28年度一般会計歳出予算（当初）

（単位：千円）

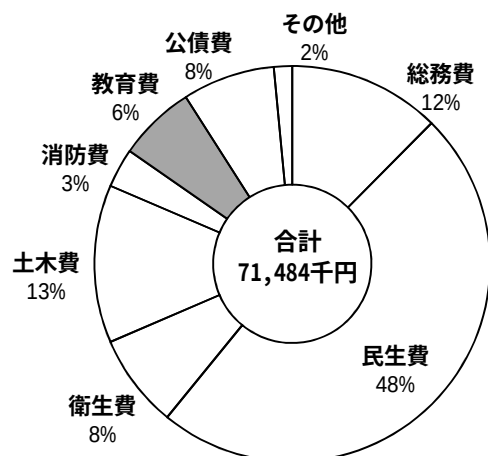
款	本年度予算額	前年度予算額	比較	増減率（％）
1 議会費	439,526	473,845	△ 34,319	△ 7.2
2 総務費	8,869,193	9,534,775	△ 665,582	△ 7.0
3 民生費	34,658,649	31,880,435	2,778,214	8.7
4 衛生費	5,475,577	5,656,041	△ 180,464	△ 3.2
5 労働費	45,851	65,719	△ 19,868	△ 30.2
6 農林水産業費	88,487	79,324	9,163	11.6
7 商工費	394,493	308,781	85,712	27.8
8 土木費	9,221,880	10,060,642	△ 838,762	△ 8.3
9 消防費	2,283,899	2,155,028	128,871	6.0
10 教育費	4,505,387	4,858,958	△ 353,571	△ 7.3
11 災害復旧費	3	3	0	0.0
12 公債費	5,401,055	5,164,449	236,606	4.6
13 予備費	100,000	100,000	0	0.0
歳出合計	71,484,000	70,338,000	1,146,000	1.6

平成28年度教育費内訳（当初）

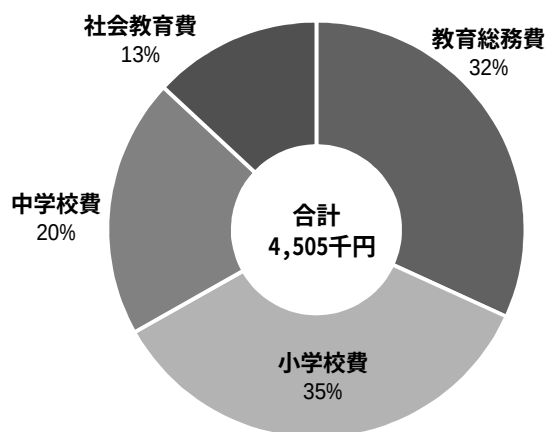
（単位：千円）

項	本年度予算額	前年度予算額	比較	増減率（％）
1 教育総務費	1,433,802	1,412,362	21,440	1.5
2 小学校費	1,577,642	1,718,459	△ 140,817	△ 8.2
3 中学校費	904,964	1,104,397	△ 199,433	△ 18.1
4 社会教育費	588,979	623,740	△ 34,761	△ 5.6
合計	4,505,387	4,858,958	△ 353,571	△ 7.3

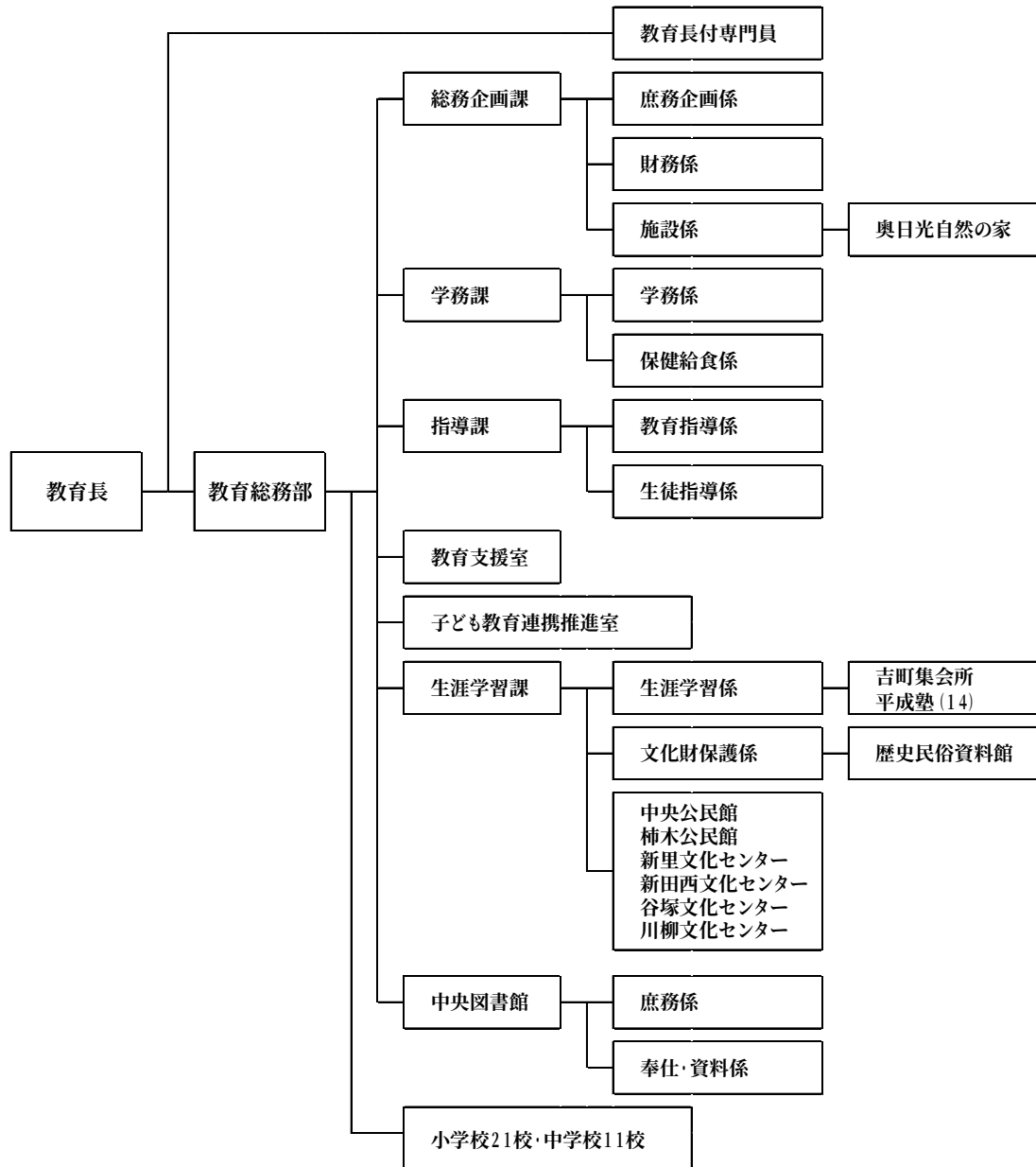
○ 平成28年度一般会計歳出予算（当初）の構成



○ 平成28年度教育費（当初）の構成



教育委員会の組織



教育委員会の事務分掌

教育総務部

◎ 総務企画課

○ 庶務企画係

- ・ 教育行政の主要施策の企画、立案、総合調整及び推進に関すること。
- ・ 教育委員会の会議に関すること。
- ・ 教育委員会の秘書事務に関すること。

- ・学校の設置及び廃止に関する事。
- ・教育委員会規則等の制定及び廃止に関する事。
- ・職員（県費負担教職員を除く。）の人事、給与及び服務に関する事。
- ・職員（県費負担教職員を除く。）の福利厚生及び研修に関する事。
- ・儀式及び表彰に関する事。
- ・文書等の配布及び発送に関する事。
- ・文書事務の指導に関する事。
- ・公印の管理に関する事。
- ・教育委員会事務局内及び部内の調整に関する事。
- ・他の課に属さない事務に関する事。
- ・その他課の庶務に関する事。

○財務係

- ・予算の作成及び調整に関する事。
- ・学校予算の配当に関する事。
- ・物品の購入、委託その他の契約に関する事。
- ・教育財産の統括に関する事。
- ・「草加の教育」及び「そうか教育だより」の発行に関する事。
- ・教育の調査統計及びその分析に関する事。
- ・入学準備金及び奨学資金の貸付けに関する事。
- ・その他財務に関する事。

○施設係

- ・学校施設の維持管理並びに維持管理に係る小規模工事及び修繕に関する事。
- ・学校施設の設備の保全及び委託に関する事。
- ・奥日光自然の家に関する事。
- ・学校施設の整備計画に関する事。
- ・学校施設の建設及び大規模改修等に関する事。
- ・学校施設の安全に関する事。
- ・学校施設の使用許可に関する事。
- ・その他学校施設に関する事。

◎ 学務課

○学務係

- ・県費負担教職員の服務及び人事に関する事。
- ・学級編成及び児童生徒数の管理に関する事。
- ・学齢児童生徒の就学、入学、転学及び退学に関する事。
- ・学齢簿の編製及び保管に関する事。
- ・要保護・準要保護児童生徒の援助費に関する事。
- ・通学区域の設定及び改廃に関する事。

- ・ 学校の運営の基本的事項に関すること。
- ・ 学校基本調査に関すること。
- ・ 学校評価に関すること。
- ・ その他課の庶務に関すること。

○保健給食係

- ・ 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関すること。
- ・ 独立行政法人日本スポーツ振興センターに関すること。
- ・ 児童生徒及び教職員の保健安全に関すること。
- ・ 学校保健衛生の計画及び推進に関すること。
- ・ 児童等災害対策基金に関すること。
- ・ 学校給食の計画及び推進に関すること。
- ・ 学校給食用備品の維持管理に関すること。

◎ 指導課

○教育指導係

- ・ 教職員研修及び各種教育研究会に関すること。
- ・ 教科等の指導に関すること。
- ・ 教育課程の編成及び管理に関すること。
- ・ 教育研究奨励に関すること。
- ・ 学校教育調査に関すること。
- ・ 安全教育等に関すること。
- ・ 国際理解教育の推進に関すること。
- ・ 情報教育の推進に関すること。
- ・ 環境教育の推進に関すること。
- ・ 進路指導に関すること。
- ・ 教科用図書の採択に関すること。
- ・ 教科用図書無償給与事務に関すること。
- ・ 校外行事等に関すること。
- ・ 学校における人権教育に関すること。
- ・ 児童生徒の事故に関すること。
- ・ その他課の庶務に関すること。

○生徒指導係

- ・ 生徒指導に関すること。

◎ 教育支援室

- ・ 特別支援教育に関すること。
- ・ 教育相談に関すること。
- ・ その他室の庶務に関すること。

◎ 子ども教育連携推進室

- ・ 幼稚園・保育園・認定こども園・小学校・中学校の連携の推進に関すること。
- ・ 幼児期の教育に関すること。
- ・ 家庭教育への支援に関すること。

◎ 生涯学習課

○生涯学習係

- ・ 生涯学習の企画及び推進に関すること。
- ・ 生涯学習に係る情報の収集及び提供並びに調査研究に関すること。
- ・ 社会教育施設に関すること。
- ・ 社会教育機関の相互調整及び社会教育関係団体の育成に関すること。
- ・ 生涯学習における人権教育に関すること。
- ・ 新成人のつどいに関すること。
- ・ 栄小学校施設の一般使用に関すること。
- ・ その他課の庶務に関すること。

○文化財保護係

- ・ 文化財の保護に関すること。
- ・ 歴史民俗資料館に関すること。
- ・ 市史の刊行に関すること。
- ・ 歴史資料として重要な公文書等の調査、収集及び保存に関すること。
- ・ 公文書館の整備推進に関すること。

◎ 中央図書館

○庶務係

- ・ 図書館運営に関すること。
- ・ 施設管理に関すること。
- ・ 多目的ホールの一般使用に関すること。
- ・ その他図書館の庶務に関すること。

○奉仕・資料係

- ・ 図書館資料の選定、整理及び保存に関すること。
- ・ 郷土資料、寄贈等の資料の受入保管に関すること。
- ・ その他図書館資料に関すること。
- ・ 図書館資料の利用に関すること。
- ・ レファレンス・サービスに関すること。
- ・ 文化事業の企画及び運営に関すること。
- ・ その他図書館の奉仕に関すること。

Ⅱ 子 ども 教 育

「子ども教育」の連携を推進

0歳から15歳までを、子どもたち一人ひとりに「生きる力」をはぐくむ連続した教育期間ととらえ、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校・中学校・家庭・地域と共に子どもたちの育ちを支える「子ども教育」の連携を推進しています。

1 3つのモデル校区で小中一貫教育を先行実施します。

平成30年度に市内全ての中学校校区で幼保小中を一貫した草加の教育を実施するため、3つのモデル校区で小中一貫教育を先行実施します。そして、実践した内容を市内の幼保小中や家庭・地域へ周知するため、研究発表会を開催します。

また、各小中学校において9年間を通じた教育課程を編成するための「草加市幼保小中一貫教育標準カリキュラム」を、本年度は7教科（国語、社会、算数・数学、理科、外国語活動・英語、音楽、体育・保健体育）を中心に作成して配布します。

2 3つのプログラムを実施しています。

①目指す「草加っ子」（幼保小中教育指針）

0歳から15歳まで、「自ら学び、心豊かに、たくましく生きる」草加っ子をはぐくむため、発達段階ごとに、「生活」「人とかかわり」「自ら学ぶ」の各領域について、「具体的な取組事項」を定めた教育の指針です。

このプログラムにより、園や学校という違いがあっても、子どもにかかわる教職員が、中学卒業時の子どもの姿を共有しています。

②幼保小接続期プログラム

幼稚園・保育園・認定こども園の「学び」のめばえとなる遊び（生活）を、小学校の各教科等の「学び」につなぐためのプログラムです。

③小中連携プログラム

小中学校9年間を通じた教育を円滑につなぐため、基本的な生活習慣・学習習慣の定着や、学力の向上、問題行動の予防を目指すプログラムです。

3 日々の保育・教育を支援する2つの指導資料の活用を促進します。

①乳幼児期 保育・教育課程（草加っ子 にこにこ わくわくプラン）

小学校入学までに身に付けたい力をはぐくむために、乳幼児期において「生活する力」「人とかかわる力」「自ら学ぶ力」について経験させたい内容や実践事例を、発達の時期ごとに示した、教員・保育士向けの指導資料です。

②小中学校 教育課程指導資料(算数・数学)

児童生徒の学力や意欲を伸ばし、思考力の育成や知識・技能の定着を図るために、小中学校9年間を見通した算数・数学の指導を支援する、小中学校教員向けの指導資料です。

4 家庭教育への支援

小中学校入学前などの節目や各校のPTA活動などにおいて、保護者を対象にした「親の学習」講座を開催します。また、中学生向け「親の学習」講座のモデル実施を行います。さらに、乳幼児期・小学校入学準備期から児童期・思春期それぞれの時期をテーマにした子育て講演会の開催や、保護者向けの子育てリーフレットシリーズ（「笑顔で子育て」、「もうすぐ1年生」、「エンジョイ！中学校生活」、「家庭学習のすすめ」）の作成・配布を行います。

入学準備金・奨学資金の貸付制度

高等学校等に入学を希望する方の保護者で入学準備金の調達が困難な方に対し、入学準備金を貸し付けることにより市民に等しく教育を受ける機会を与えるとともに、経済的な理由から修学が困難な方に対し、奨学資金を貸し付けることにより有能な人材の育成を図ります。

区 分		入学準備金貸付限度額	奨学資金貸付金額（月額）
高 等 学 校 高 等 専 門 学 校 専 修 学 校	国立・公立	100,000円	10,000円
	私 立	300,000円	20,000円
短 期 大 学 大 学	国立・公立	200,000円	15,000円
	私 立	500,000円	30,000円

外国人学校児童生徒保護者補助金制度

外国人学校（学校教育法に定める義務教育相当年齢の児童生徒を教育する学校）に通学する児童生徒の保護者で、住民基本台帳に記載されている方を対象に、通学に要する経費の補助を実施しています。

対 象	補 助 金 額
学齢児童の保護者（1人につき）	30,000円以内
学齢生徒の保護者（1人につき）	50,000円以内

計画的な学校教育施設整備の推進

平成28年度は、トイレ環境の改善に向けて、小学校3校3か所のトイレ改修工事を実施します。また、小学校9校9か所の改修工事实施設計を実施するとともに、小中学校のその他必要な修繕及び工事も実施し、安全で快適な学習環境を維持します。

自 然 教 室

1 趣旨と目標

自然教室は、自然に恵まれた「奥日光自然の家」を利用して、児童生徒一人ひとりが自然の恵みや美しさなどに触れるとともに、人間的な触れ合いの中で、より良い人間関係を深めることにより、豊かな心を育成することを目標とした取組です。豊かな心の育成が大きな教育課題の一つになっている今、ますます自然教室での自然との触れ合いや仲間との交流活動などの学習が大切になっています。

平成26年度から、試行として草加市と姉妹都市である福島県大沼郡昭和村でも自然教室を実施しています。

2 実施計画の概要

○小学校5年生全児童、中学校2年生全生徒対象

【奥日光】

- | | | |
|---------|--------|-------------------|
| ・小学校18校 | 各校3泊4日 | 7月22日(金)～8月9日(火) |
| | | 8月16日(火)～8月25日(木) |
| ・中学校11校 | 各校3泊4日 | 6月17日(金)～6月26日(日) |
| | | 6月28日(火)～7月7日(木) |
| | | 9月1日(木)～9月16日(金) |

【昭和村】

- | | | |
|--------|--------|-------------------|
| ・小学校3校 | 各校2泊3日 | 7月27日(水)～7月29日(金) |
| | | 8月3日(水)～8月5日(金) |
| | | 8月8日(月)～8月10日(水) |

3 自然教室の経緯

- 昭和60年 蓼科林間学校が廃止される。
- 昭和61年 奥日光自然の家を日光中禅寺湖畔に開設する。
(4大学が利用していた施設を市が譲り受ける。)
奥日光自然の家において自然教室を実施する。
(小学校3泊4日、中学校4泊5日)
- 平成7年 小学校・中学校とも3泊4日とする。

- 平成17年 草加市立小中学校自然教室20周年記念式典を行う。
 - 平成26年 昭和村での2泊3日の自然教室を小学校2校で試行する。
 - 平成27年 昭和村での2泊3日の自然教室を小学校3校で試行する。
 - 平成28年 昭和村での2泊3日の自然教室を小学校3校で試行する。
- 草加市立小中学校自然教室30周年記念式典を行う。

教 育 施 設 の 紹 介

○奥日光自然の家

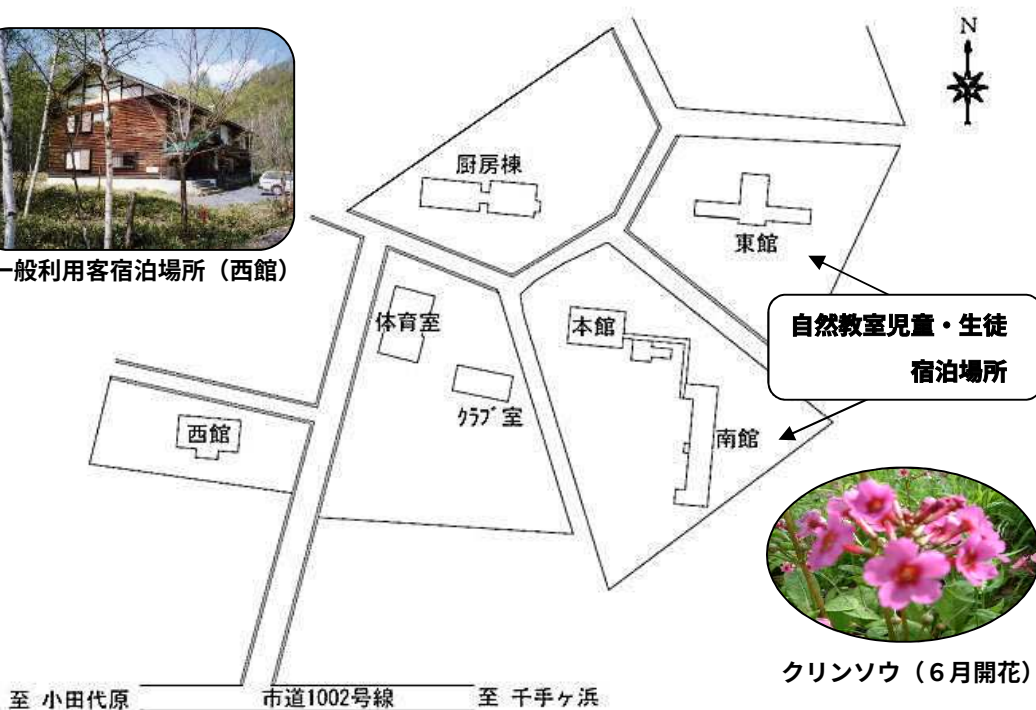
中禅寺湖畔千手ヶ浜にほど近い国有林にある草加市立奥日光自然の家は、周辺に野鳥や鹿などの野生動物が生息する自然の宝庫です。この豊かな自然環境の中で、児童生徒の心身ともに調和のとれた健全な育成を図るとともに、市民の健康増進を目的として同施設は昭和61年に開設されました。

毎年、5月から11月初旬まで一般の方に施設を利用していただいております。また、6月から9月にかけて、市内の小学5年生・中学2年生を対象に、3泊4日で自然教室を開催しております。

- ・所在地：栃木県日光市中宮祠官有無番地
- ・施設概要：宿泊棟4棟(本館、南館、東館、西館)、厨房棟、体育室、クラブ室
西館 和室(定員4名)5部屋 洋室(定員6名)5部屋
- ・宿泊料金(市内料金)：大人1人1泊1,540円 4歳～中学生770円 ※食事料金別途



一般利用客宿泊場所(西館)



草加市立奥日光自然の家配置図

学 校 図 書 館 教 育

1 学校図書館の機能

学校図書館には、児童生徒が自ら学ぶ学習・情報センターとしての機能、豊かな感性や情操をはぐくむ読書センター機能が求められています。

- (1) 司書教諭を中心に、全教職員の共通理解に基づく協力体制を確立し、計画的な学校図書館の利用や読書活動の推進を図っています。また、公立図書館との連携も行っています。
- (2) 学習・情報センター及び読書センターとしての機能が発揮できるよう、図書や視聴覚資料等の整備・充実に努め、データベース化も行っています。
- (3) 市教育委員会では、学校司書を採用して、全小中学校に配置し、学校図書館教育への支援を行っています。

2 読書活動

読書は、児童生徒の人間形成に欠かせない活動であり、生涯にわたる自己啓発の基盤となるものです。また、小中学校では、学校図書館を活用して計画的な読書活動を推進し、発達段階に応じながら朝の一斉読書や読み聞かせ活動等により、児童生徒が読書に親しむ態度の育成を図っています。

3 成果

取組により、学校図書館の蔵書貸出数が増加し、読書活動の充実が図られています。

国 際 理 解 教 育

1 国際理解教育の目標

国際理解教育は、国際化の進展に対応し、国際社会の中で日本人としての自覚と、主体性をもって生きていくための資質や能力の基礎を培うことを目標に行っています。

本市では、外国語活動及び英語教育の充実に向け、国際交流員（C I R）1人を含む語学指導助手（A L T）を20人に増員して、各学校に配置しています。英語教育や外国語活動、国際理解教育だけでなく、特別活動等でも児童生徒との交流活動を実施しています。

2 中学校における英語教育

英語の授業では、日本人英語教師とA L Tとのチームティーチング等をおし、生徒が英語を使ってコミュニケーション活動などを行い、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養っています。

3 小学校における外国語活動

小学校では、5・6年生で外国語活動が行われています。担任教師が中心となり、文部科学省作成の『Hi, friends!』等を活用し、A L Tとのチームティーチングを行うなど、児童が外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむことをとおして、国際理解を深めることができるよう、外国語活動を実施しています。

4 その他の取組

日本語指導が必要な児童生徒の在籍校に国際理解教育補助員（8人）を配置し、該当児童生徒の実態に応じた日本語支援等を行っています。

5 成果

取組により、外国語をとおして外国の言語や文化を身近に感じ、興味・関心が高まっています。また、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育っています。

情 報 教 育

1 情報教育の目標

情報教育の目標は、児童生徒が情報を主体的に収集・選択・活用する情報活用能力及びI C T機器等の情報手段を活用できる能力の育成を図ることです。

小中学校では、各教科や領域においてI C Tを積極的に活用し、学習活動における情報教育の充実を図ります。

2 主な取組

(1) I C T環境の整備

- ・全校の情報教室にコンピュータ各42台を整備
- ・全校に特別教室用コンピュータ、電子黒板、実物投影器等を整備
- ・全校の学校図書館にコンピュータ各2台を整備
- ・全校にインターネット高速通信回線接続
- ・小中学校県費負担教職員に教育用兼校務用コンピュータを整備
- ・小学校6校、中学校3校にタブレット型コンピュータ及び電子黒板を整備

(2) 情報教育研修会

情報教育に関する教員の資質向上のために、I C T機器活用研修会を実施します。また、各学校では情報教育の推進教員による校内研修などに取り組みます。

(3) 情報教育推進委員会

学校における情報教育の推進を図るため、I C T機器の活用の仕方、I C T機器を活用した学習活動の在り方の研究を行います。また、情報社会におけるモラルやマ

ナーの育成に向けた取組を行います。

(4) 授業でのICT活用

小中学校にデジタル教科書を整備し、授業で活用しています。また、小学校6校、中学校3校に整備するタブレット型コンピュータ及び電子黒板を活用することにより、児童生徒に思考力、表現力を身に付けさせる授業を展開します。

3 成果

取組により、各校でのICTを活用した教育活動の充実が図られています。ICT機器等を整備し、授業でのICT活用を進めることで、児童生徒の学習意欲や情報活用能力の向上が図られています。

環 境 教 育

近年、社会環境の著しい変化とともに「環境教育」の重要性・実践性が強く求められています。

教育委員会では、平成4年度から学校教育の場において市廃棄物資源課と連携し、市内小中学校で給食の牛乳パックのリサイクルを開始しました。

平成7・8年度には埼玉県環境教育モデルゾーンの指定を受け、新栄中学校を中心とする地域で研究推進に取り組みました。このことにより、各校における環境教育への意識の高まりが見られました。

また、平成10年度から市環境課と協力し、「学校ビオトープ」の整備・充実を図るとともに、「草加市環境教育指導資料」の冊子や「広げよう、地球にやさしい暮らし」のパンフレットなどを作成し、意識の高揚を図りました。

平成16年度からは、市廃棄物資源課と連携して、市内の小中学校でアルミ缶の回収活動を開始し、学校教育への還元化を目指した取組を行っています。

1 具体的な取組内容

- (1) 環境教育の全体計画と年間指導計画づくりの推進
- (2) 総合的な学習の時間等での積極的な取組（出前講座の講師派遣・環境教育への支援）
- (3) 学校ビオトープ維持管理等への助言
- (4) 牛乳パックやアルミ缶のリサイクルの取組
- (5) エコライフDAY（県）の積極的な参加
- (6) 小学校5年生・中学校2年生全員参加による自然教室をとおした環境教育の推進

2 今後の方向性

- (1) 「持続可能な循環型社会づくり」を目指して、市内の小中学校で環境教育の一層の推進を図っていきます。

- (2) 関係機関との連携を深め、地域ぐるみの活動として定着を図っていきます。

教 職 員 の 研 究 ・ 研 修

「生きる力を共に教え育てる草加の教育」を基本理念とし、児童生徒の確かな学力、豊かな人間性、健康・体力を育成するため、各校の課題研究への支援や教職員の資質向上を図るための研修会を実施しています。また、平成17年度から取り組んできた「草加っ子の基礎・基本」を平成28年度に改訂し、更なる充実を目指して、「基礎学力」「規律ある生活」「健康・体力」に関する基礎的・基本的内容を目標とし、保護者の方々と連携して、各小中学校で取組を行っています。

1 学校訪問

- (1) 要請訪問：学校や教職員によって運営される草加市教育研究会の要請に応じ、指導主事が各校を訪問し、指導助言を行っています。
- (2) 指導訪問：市教育委員会の計画に基づき、埼玉県南部教育事務所等の協力を得て、毎年度1回市内小中学校32校を訪問し、指導助言を行っています。

2 教職員研修

- (1) 県教育委員会主催：初任者研修、ステップ・アップ研修、5年経験者研修、10年経験者研修、20年経験者研修、特定研修、人権教育研修等を実施しています。
- (2) 市教育委員会主催：3年次教員研修、中堅教員研修、臨時的任用教員研修、各教科及び領域等の授業研究会や実技研修会、生徒指導、人権教育、教育相談、特別支援教育、情報教育等の研修会を実施しています。

3 草加っ子生き生きプラン「生きる力プラン」市教育委員会研究委嘱校

【平成26・27・28年度 研究委嘱校】

- 1 新田小学校 学力向上「算数科」
- 2 川柳小学校 草加っ子の基礎・基本「国語科・算数科」
- 3 新里小学校 学力向上「国語科」
- 4 花栗南小学校 学力向上「算数科」
- 5 氷川小学校 学力向上「国語科」
- 6 八幡北小学校 健康・体力向上「体育科」等
- 7 松原小学校 学力向上「国語科」

【平成27・28・29年度 研究委嘱校】

- 1 高砂小学校 学力向上「算数科」
- 2 八幡小学校 学力向上「算数科」
- 3 新栄小学校 学力向上「算数科」

- 4 稲荷小学校 草加っ子の基礎・基本「国語科」
- 5 長栄小学校 学力向上「算数科」

4 成果

取組により、児童生徒の学力向上、教職員の教育研究や研修の充実が図られています。

生 徒 指 導

1 目標

生徒指導は、学校の教育目標を達成するための重要な機能の一つであり、一人ひとりの児童生徒が学校生活に生きがいを感じ、規律正しく、豊かで充実した生活を送ることができるように指導、支援するものです。こうした目標に向けて、いじめ・不登校の問題の解消をはじめ、学校支援の充実をとおして、心豊かな児童生徒の育成に努めています。

2 主な取組

目標を達成するために、次の取組をとおし各小中学校での生徒指導を支援しています。

- (1) 様々な学校の問題に対して直接的に支援できる体制として、平成25年度から「草加市立小中学校問題解決支援チーム（TEAM 3S）」が発足しました。
- (2) 指導課に生徒指導担当指導員、学級支援員を配置し、各小中学校への派遣をとおして、教員が子どもと関わる時間を確保し、一人ひとりの子どもが落ち着いて学習に取り組むことができるよう、学校支援体制の充実に努めています。
- (3) 豊かな人間性の育成を目指して、道德教育の充実を図るため、埼玉県道德教育教材資料集「彩の国の道德」の活用や道德の時間などの工夫・改善について、学校訪問での指導助言や研修会を実施しています。また、豊かな体験活動として、自然教室や中学生が地域の事業所等で社会体験をする中学校社会体験事業及び読書活動などを行っています。
- (4) 「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」に基づいて、造血幹細胞の適切な提供の推進を教育的観点からとらえ、「いのちの絆をつなぐ教育」として学校教育の中で推進していくことを目的に、豊かな心推進事業を平成27年度から行っています。

小学校では、5年生で「造血幹細胞移植」に係る授業を実施し、中学校では、2年生を対象に「造血幹細胞移植」に係る講演会・授業を実施します。

- (5) 指導課に設置してあるフリーダイヤル等による電話相談、教育支援室における来室相談を行っています。

- (6) 草加市小中高合同生徒指導委員会において、小学校、中学校、高等学校、児童相談所等との相互の連携協力関係を充実させるために、事例研修会や講演会を実施しています。
- (7) 学校警察連絡協議会において草加警察署及び小中学校、高等学校との連携を図っています。
- (8) 学校・家庭・地域がいじめに対しての関心を高め、防止していこうとする態度や意識をもつことを目的に、平成25年度より市内全小中学校の児童生徒、教職員、保護者、PTA役員等を対象とした「いじめ撲滅サミット」を開催しています。
- (9) 平成26年3月に「草加市におけるいじめの防止等のための基本的な方針」を策定するとともに、各校で「学校いじめ防止基本方針」を定めました。また、同年6月、「草加市いじめ問題対策連絡協議会等条例」を策定しました。

教 育 相 談

1 教育支援室

教育支援室は、昭和46年の設置後、平成13年2月に場所の移転及び組織の改編を行い、内容、施設ともに充実を図り、平成19年4月より、学校への支援を積極的に行うという視点から、教育相談室から教育支援室へと名称を変更しました。専門的な立場から幼児、児童、生徒、保護者や学校に対して支援・相談に応じ、一人ひとりの子どものより望ましい成長と自己実現への支援を行っています。

2 教育相談等の内容と対応する職員等

(1) 内容

①一般教育相談 ②巡回教育相談 ③学級支援 ④学校適応指導教室「ふれあい教室」の開設 ⑤就学相談 ⑥ことばの相談 ⑦学校教育相談活動への支援 ⑧各種研修会の実施 ⑨障害児就学支援委員会、調査専門員の活動 ⑩特別支援学級設置校及び通級指導教室開設校への支援 ⑪「教育支援室リーフレット」「就学支援の手引」等の発行

(2) 職員等

①室長 ②指導主事等5人 ③学校支援指導員3人 ④特別支援教育指導員1人⑤「ふれあい教室」指導員3人 ⑥臨床心理士・臨床心理専門員4人 ⑦特別支援相談員2人 ⑧巡回相談員3人 ⑨ことばの相談指導員1人 ⑩通級指導教室指導員3人 ⑪スクールカウンセラー6人 ⑫スクールソーシャルワーカー3人（県費2、市費1） ⑬草加市さわやか相談員11人 ⑭特別支援教育支援員30人 ⑮特別支援教室児童担当指導員2人

3 教育支援室対応状況の概要

(1) 年度別相談項目と相談者実人数及び延べ人数

(単位：人)

	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
ことばの相談	94	384	72	341	78	388	44	286	54	285
知的発達相談	95	363	147	664	224	553	191	484	180	432
情緒障がい	175	1,125	227	1,643	393	1,279	322	1,206	374	1,228
集団不適應	37	125	87	336	162	252	66	128	93	141
いじめ相談	25	53	53	383	24	53	16	20	14	29
性 格 行 動	16	82	14	98	8	56	4	12	17	23
あそび・非行	122	3,352	129	646	13	51	6	23	21	33
し つ け	4	9	6	81	10	47	4	11	5	9
就学・進路	29	45	16	21	8	12	11	30	21	41
生 活 行 動	38	212	78	379	52	157	46	118	29	71
学 習 面	23	70	60	873	439	876	317	653	310	483
不 登 校	222	3,026	466	3,490	623	2,163	443	1,859	516	2,160
就 学 相 談	253	974	272	832	291	1,039	243	839	256	739
そ の 他	648	1,447	705	2,459	1,162	2,648	1,128	2,009	1,102	1,559
合 計	1,781	11,267	2,332	12,246	3,487	9,574	2,841	7,678	2,992	7,233

(2) ふれあい教室利用者実人数及び延べ人数

(単位：人)

平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
23	947	27	922	25	1,305	15	1,114	23	1,350

4 成果

市内小中学校及び保護者等と連携を図りながら、様々な相談・支援を行うことで、一人ひとりの児童生徒の課題の解決が促進されています。中でも、巡回相談を始めとする学校訪問等が充実したことで、児童生徒、保護者の相談のみならず、学校や教職員への支援も推進されました。また、中学校に設置されているさわやか相談室の機能が、市教育委員会との連携の中で一層充実し、市立小中学校におけるいじめ・不登校等の解決に成果をあげています。

さらに、学校適応指導教室「ふれあい教室」に通級していた児童生徒が、教育支援室と保護者、学校、関係機関との連携により、学校に部分復帰や完全復帰することができました。

特 別 支 援 教 育

1 特別支援教育の目標

特別支援教育は、障がいのある幼児や児童生徒の自立、社会参加に向けて、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その可能性や能力を最大限に高め、生活や学習上の課題を改善・克服するために適切な教育的支援を行うことを目標にしています。

通常の学級に在籍する発達障害を含め、教育上特別な支援が必要と思われる児童生徒や障がいのある児童生徒への支援を進めるために、各小中学校に校内委員会を設置し、特別支援教育コーディネーターを校務分掌に位置付ける等、校内の特別支援教育体制の充実を図っています。

2 草加市の特別支援学級

草加市には、特別支援学級を設置している小学校が全21校に36学級、中学校が全11校に22学級あります。また、知的障害特別支援学級、自閉症・情緒障害特別支援学級が設置され、児童生徒一人ひとりの障がいの状態、発達段階、特性に応じた教育を行っています。

【平成28年度特別支援学級設置状況】

平成28年5月1日現在

学校名	児童数	学級数	学校名	児童数	学級数	学校名	生徒数	学級数
草加小	8	2	新栄小	2	1	草加中	19	4
高砂小	10	2	清門小	7	2	栄中	6	2
新田小	16	2	稲荷小	4	1	谷塚中	12	2
谷塚小	6	2	氷川小	2	1	川柳中	7	2
栄小	11	2	八幡北小	6	1	新栄中	8	2
川柳小	8	2	長栄小	4	1	瀬崎中	6	2
瀬崎小	7	2	青柳小	11	2	花栗中	5	2
西町小	10	2	小山小	3	1	両新田中	6	2
新里小	9	2	両新田小	11	2	新田中	5	1
花栗南小	7	2	松原小	11	2	青柳中	4	1
八幡小	13	2	合計 32校58学級 253人			松江中	9	2

3 草加市の通級指導教室

通常学級に在籍していることば・聞こえに課題のある児童のための通級指導教室は、小学校3校に4教室設置されています。また、情緒等に課題がある児童のための通級指導教室も小学校3校に5教室、中学校1校に1教室設置されています。

それぞれの教室では、児童生徒の言語面や情緒面の課題改善のための教育を推進しています。

【平成28年度通級指導教室設置状況】

平成28年5月1日現在

学校名	児童数	教室数	学校名	児童数	教室数	学校名	児童数	教室数
栄小 (発達・情緒)	20	2	氷川小 (発達・情緒)	18	2	八幡小 (発達・情緒)	13	1
松原小 (難聴・言語)	34	2	氷川小 (難聴・言語)	10	1	八幡北小 (難聴・言語)	17	1
栄中 (発達・情緒)	11	1				合計 6校10教室123人		

4 草加市の就学に係る教育的支援

草加市では次の事業をととして、関係機関と連携を図り、就学に必要な情報を的確に保護者に提供しながら、保護者が適切な判断をしていけるよう支援しています。

- ・特別支援教育指導員や臨床心理士による計画的な学校訪問を実施することを始めとして、より児童生徒、保護者及び学校のニーズにあった専門的な支援を推進しています。
- ・各学校における就学相談委員会などでの相談を始め、早期からの多角的な相談をもとに、就学に係る教育的支援を推進しています。
- ・就学に係る教育的支援を図るために、専門機関、専門医、臨床心理士、特別支援教育に携わる教職員で組織する草加市障害児就学支援委員会を設置しています。
- ・草加市特別支援教育巡回支援員を置き、就学に係る教育的支援が必要と判断された児童生徒の在籍する学校及び小中学校長から要請のあった学校を、保護者の意向を踏まえ巡回し、対象児童生徒の実態把握並びに指導内容及び方法に関する助言を行っています。
- ・通級指導教室に言語聴覚士及び臨床心理士を指導員として派遣し、担当教員への研修体制を整えています。

5 成果

- (1) 就学予定児や児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じ、適切な教育的支援が図られています。
- (2) 知的障害特別支援学級については、両新田中学校に1学級新設、また、自閉症・情緒障害特別支援学級については、花栗中学校に1学級新設、谷塚中学校は1学級を減じ、市内の特別支援学級は、小学校に36学級、中学校に22学級を設置し、合計253人の児童生徒が在籍しています。また、通級指導教室については、難聴・言語障害3校4教室、発達障害・情緒障害4校6教室を設置し、合計123人の児童生徒が在籍しています。これらの学級・教室の設置により地域で指導ができる体制づくりを目指すとともに、一人ひとりの障がいの状態や教育的ニーズに一層応じられるようになっていきます。
- (3) 特別支援学級等に30人の特別支援教育支援員を配置し、児童生徒一人ひとりの教

育的ニーズに応えるための教育活動への支援を図っています。

- (4) 就学に係る教育的支援に関する関係組織や諸機関との連携により、幼児期からの早期就学相談、就学に係る教育的支援を推進しています。
- (5) 市教育支援室巡回相談員による市内小中学校への巡回相談を行い、障がいがあると思われる児童生徒の理解や支援、指導方法についての助言に努めています。
- (6) 通級指導教室に指導員を派遣し、担当教員の資質の向上を図ることにより、児童の課題の克服や改善に向けた支援に努めています。
- (7) 市内在住の県立特別支援学校の児童生徒が市内小中学校において、「支援籍学習」に取り組み、インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進に努めています。
- (8) 特別支援教育指導員を配置し、特別支援学級の新設学級及び経験年数の浅い特別支援教育担当者を中心に巡回支援を行い、指導力の向上と特別支援教育の充実に努めています。
- (9) 特別支援教育担当育成研修会を行い、特別支援教育に携わる人材の発掘及び育成を図っています。

学 校 給 食

本市の学校給食は、草加小学校において昭和23年に週3回のミルク給食から開始されました。なお、完全給食は、小学校では昭和41年から、中学校では昭和45年から実施され、長栄小学校及び新田中学校が併設校として一つの調理場である他は、各校単独調理場方式（自校方式）で実施されています。

単独調理場の長をいかして、学校行事や児童生徒の嗜好等を考慮したきめ細やかな献立により、心のこもった給食づくりを実施し、児童生徒の健やかな心と体の育成を目指しています。

なお、平成18年度から中学校の学校給食調理業務を、段階的に民間の専門会社に委託する方式を導入し、平成20年度から民間委託方式が新田中学校を除く全中学校で導入されましたが、これまでと変わらない、手づくりのおいしい給食を提供しています。

【平成28年度学校給食費】

区 分	月 額	年 額	年間給食回数	一食当たり
小学校	4,300円	47,300円	187回	252円
中学校	5,100円	56,100円	187回	300円

1 学校給食の目標

(1) 給食は「心の教育」

学校給食は、望ましい食習慣の形成、望ましい人間関係の育成をねらいとして、特別活動の中の学級活動に位置付けられ実施されています。本市においては、異学年

と一緒に食べるたて割り給食、誕生会の会食給食、ランチルームでの給食や屋外での給食、卒業バイキング給食や複式献立によるセレクト給食、学校行事に合わせた献立等多様な給食を盛り込んでいます。

さらに、本市のシンボルである草加松原の絵柄を用いた食器を使用し、児童生徒のふるさと意識を醸成しています。また、各校に設置された調理場で働く調理士との交流を通じ、感謝の心を育て、仲間で協力し合って食器を運び、配膳すること等で、望ましい人間関係の形成を図っています。

(2) 計画的な栄養指導と献立の多様化

現代の児童生徒の食生活の実態は、飽食の時代といわれる中であって、必ずしも良好とはいえません。カルシウムの摂取が不足がちになる一方で、動物性たんぱく質や動物性脂肪の摂取が過多になる傾向が見られるため、栄養素や食材に偏りのない正しい食生活が重要です。

そこで、本市の学校給食では、次の点に留意し、実施しています。

- ・不足しがちなカルシウム・鉄・ビタミン類の摂取に心掛ける。
- ・緑黄色野菜・大豆製品・海藻類・種実類・芋類の摂取に心掛ける。
- ・旬のものを取り入れ、季節感のある献立とする。
- ・不必要な食品添加物などが使用されていると思われる食品は使用しない。

以上のことや「学校給食摂取基準」「標準食品構成表」に基づき、肉類・油脂が過剰にならないよう配慮し、魚を多く取り入れ、不足しがちな食品の摂取に留意し、おいしく、栄養のバランスのとれた献立内容とするための工夫改善をしています。

また、成長期にある児童生徒が自らの健康の維持増進を図るために必要な条件を認識させ、判断できる能力を養うため、給食指導計画と栄養指導資料を作成しています。

さらに、栄養面の知識を身に付けさせるとともに、心と体の健全な発達を指向する態度の育成をめざしています。

(3) 衛生管理の徹底

学校給食による食中毒・感染症の発生等の事故を未然に防止するために、施設・設備の点検、食材の検収、調理器具の点検整備を十分に行い、提供食の保存・検査も行っています。また、学校給食に携わる者の衛生については、細菌検査による健康管理や衛生知識を高めるための研修会等を実施し、管理の徹底を図っています。

(4) 食材の安全と安心

学校給食において、食の安全と安心は欠かせません。安全な産地の食材を使用するとともに、使用食材の放射性物質検査を行い、食材の安全性を確認し、学校給食の安全と安心の確保に努めています。

2 強化磁器食器の導入

本市では、平成3年4月から小学校全学年に、平成4年2月から中学校全学年に強化磁器食器を導入しました。温もりのある材質の食器を使うことで、給食時間の楽しい雰囲気づくりや食事マナーの指導に役立てているほか、物を大切に扱う心の育成に努め

ています。

3 地場産食材の使用・郷土食等の導入

市内で生産された枝豆、小松菜、くわいなどの野菜を中心に、採れたての地場産食材を積極的に使用する取組や、献立に各地の郷土料理や特産品を取り入れた「ふるさと給食」、ユネスコ無形文化遺産に登録された和食を見直す「一汁二菜の日」など、生活と食との結び付きに着目した取組を行っています。

特に地場産食材については、生産者との交流を通じて食材の生育の過程を学び、身近に存在する食品への関心を高める工夫をしています。

学 校 保 健

社会環境、生活習慣の変化による生活習慣病の増加やアレルギー疾患への対応、薬物乱用の防止など早急に取り組まなければならない問題が山積し、児童生徒の心身の健康の保持増進を図るために必要な知識と態度の習得を目的とする健康教育がますます重要になってきています。

「自分の健康は自分でつくる」という健康意識の浸透や疾病そのものを予防する「一次予防」への取組など、自己管理教育の推進や児童生徒の立場に立った心身の問題解決への支援がますます必要とされてきており、これからも学校、家庭及び地域の三者が一体となった連携が重要です。

人生の基礎となる学校生活が、児童生徒にとって健康で活力に満ちたものになるよう、健康教育及び安全管理の充実を図ります。

1 学校保健・安全の充実

- (1) 就学時健康診断を始めとし、児童生徒及び教職員の様々な検診を実施し、事前・事後指導を通じて健康管理の推進と学校保健の充実を図ります。
- (2) 小学校4年生を対象に、日々の生活習慣が深く関わる小児生活習慣病予防健診を平成4年から実施し、年少のうちから自分の健康は自分でつくるという自己健康管理の視点で充実を図ります。
- (3) 小学校1・4年生及び中学校1年生を対象に心臓検診を実施し、平成20年度からは、地域の中核病院である草加市立病院で心臓精密診療（精密検査）を実施しています。
- (4) 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師等の医療関係者や関係機関との連携を強化し、児童生徒のアレルギー疾患において、「学校生活管理指導表」を活用し、これまで以上に適切な管理を図るほか、熱中症対策、むし歯や歯周病の予防、インフルエンザや麻しん等の感染症予防対策を一層推進し、健康管理及び学校環境衛生の充実に努めます。

- (5) 登下校を含め、児童生徒の行動実態に応じた安全対策や指導を行い、学校管理下で発生する事故の防止に努めます。
- (6) 全小中学校にAED（自動体外式除細動器）を配備し、「いざ」というとき、いつでも・どこでも・だれでもAEDを使用できるよう、消防本部と連携し、救命講習会を実施しています。

2 保健室備品の整備充実

身長計、体重計、マットレス及びベッドなどの保健室備品の整備充実を図ります。

3 草加市学校保健会

学校医、学校歯科医、学校薬剤師、学校長、保健主事、養護教諭、学校栄養士及びPTA関係者で構成されている草加市学校保健会の活動（理事会、講演会及び会報の発行など）をとおして、健康教育及び安全教育の計画的な実施と指導の充実を図ります。

市立小学校の紹介

(児童数・学級数は、平成28年5月1日現在)

学校紹介の内容

- ＜教育目標＞
- ＜研究主題＞
- ＜重点教科等＞
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞
- (1) キャッチフレーズ
- (2) 取組内容
- (3) 成果

など

草加小学校

創立年月日 明治5年5月15日
学級数 25学級 校長 上野 和敏
児童数 733人 教頭 岩渕 健志



- ＜教育目標＞
考える子 思いやりのある子 たくましい子
- ＜研究主題＞
[自ら学び、心豊かに、たくましく生きる]草加っ子の育成
～幼保小中を一貫した草加の教育の推進～
- ＜重点教科等＞
学力向上[国語・算数]
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞
- (1) キャッチフレーズ
『未来へはばたけ けやきっ子』
- (2) 取組内容
 - ① 生きる力の育成
 - ・日々の授業の充実を図る研修への取組
 - ・草加っ子の基礎・基本への取組
 - ・[あいさつは一生の宝物]を合言葉としたあいさつ運動
 - ・幼稚園・保育園・小学校・中学校を一貫した草加の教育の研究団体としての取組
 - ② 地域と共に歩む学校
 - ・家庭・学校・地域が一体となった教育の推進
 - ・[おはなしの森]地域の人材による読み聞かせ
 - ・平成塾との交流
 - ③ 潤いのある学校づくり
 - ・[ふるさとの森]の保護
 - ・[じゃぶじゃぶ池](ビオトープ)の教材としての活用
- (3) 成果
144周年目の伝統校として、家庭・学校・地域が一体となり、児童の生きる力の育成が着実に図られている。
また、地域の行事へ参加することで、地域に根ざした[ふるさと草加]を愛する児童が育っている。

高砂小学校

創立年月日 昭和29年4月1日
学級数 29学級 校長 後藤 裕史
児童数 942人 教頭 山村 一晃



- ＜教育目標＞
○あかるく ○かしこく ○たくましく
- ＜研究主題＞
確かな学力の向上を目指した指導法の研究
- ＜重点教科等＞
学力向上(算数科を中心に)
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞
- (1) キャッチフレーズ
「世界の中で生きる人間としての自覚がある高砂の子」
- (2) 取組内容
 - ① 学習規律を徹底し学力向上を図る
 - ・市教育委員会「学力向上」研究委嘱校研究推進
 - ・サタデースクールの工夫
 - ② 積極的な生徒指導の徹底(凡時徹底)
 - ・気持ちのよいあいさつ、きれいな学校、整った学校
 - ③ 学級経営を基盤に学年で取り組む教育指導
 - ・組織で共通理解をもって取り組む指導の充実
 - ④ 健康・体力の維持・増進を図る
 - ・すくすく委員会実施
 - ・さわやかタイム等体育的諸活動の充実
 - ⑤ 国際理解教育の推進
 - ・外国語活動の充実 ・異文化理解の推進
 - ⑥ 幼保小中連携の充実
 - ・瀬崎中学区での連携 ・幼保との取組促進
- (3) 成果
委嘱研究で深めた高砂スタイルの授業実践により、算数の授業に積極的に取り組む児童が増えた。また、幼保小の連携充実により、新1年生が学校生活に早く慣れ、スムーズなスタートが切れた。

新田小学校

創立年月日 明治6年4月26日
学級数 17学級 校長 森田 恵子
児童数 476人 教頭 土屋 貴一



- ＜教育目標＞
○よく学ぶ子 ○思いやりのある子 ○たくましい子
- ＜研究主題＞
生き生き元気！自ら考え表現する児童の育成
- めざす児童像 -
・自ら考える児童 ・表現する児童
- ＜重点教科等＞
学力向上「算数」
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞
- (1) キャッチフレーズ
「生き生き元気、伸び育つ新田っ子」
- (2) 取組内容
 - ① 学力向上教育研究奨励校としての研究実践の推進
 - ・草加っ子の基礎・基本の確実な定着
 - ・基礎・基本タイムの導入、ノート指導の徹底
 - ・既習事項を活用した問題解決学習・練り上げの充実を通じた思考力・表現力の向上
 - ② 幼保小中の連携の推進
 - ・幼保連携給食の実施
 - ・小中合同研修会の実施
 - ・中学生参加による計算力アップセミナー、陸上教室
 - ③ 元気なあいさつのあふれる学校
 - ・年間を通した、あいさつ運動の推進
 - ・「元気なあいさつ、大きな声で返事」の合言葉
- (3) 成果
 - 自分の考えを書いたり発表する児童が増えてきた。
 - 幼保小中の連携が進み、自ら学び、心豊かに、たくましく生きる子どもを育てていく体制ができてきた。
 - 元気なあいさつが学校中で交わされるようになった。

谷塚小学校

創立年月日 明治6年1月25日
 学級数 27学級 校長 小櫃 真人
 児童数 811人 教頭 鈴木 輝子



- <教育目標> やさしく つよく かしく
 <研究主題> 児童の運動意欲・技能向上をめざした
 体育科授業の充実
 <重点教科等> 体力向上
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ「ふるさと ふれあい 谷塚小学校」
 (2) 取組内容
 ○全職員「熱意・誠意・創意」を結集させ、信頼される学校
 づくりを推進する。
 ①基礎・基本の定着
 ・学習規律の徹底 ・「谷塚小スタンダード」の継承
 ・朝自習（月：算数タイム 金：国語タイム）の工夫
 ・「家庭学習のすすめ」を踏まえた家庭学習の充実
 ・「草加サタデースクール」の効果的な運用
 ②体力向上の取組
 ・体育授業の充実 ・体育的活動・体育的行事の充実
 ・体力向上を目指した環境整備
 ③学習意欲を高める教育環境の構築
 ・ICTの積極的な活用（大型モニター・電子黒板等）
 ④生徒指導・いじめの根絶
 ・基本的生活習慣の確立（あいさつ・返事・廊下歩行）
 ⑤家庭・地域との連携《絆を深める教育活動》
 ・「8が付く日は谷塚の日」の取組
 ⑥幼保小中連携教育を踏まえた取組・活動の充実
 ⑦複合施設としての利点を活かした教育活動の工夫
 (3) 成果
 ・明るく元気なあいさつ・返事ができる児童が増えた。
 ・家庭・地域の支援を受け、教育活動の充実を図ることが
 できた。

栄小学校

創立年月日 昭和38年4月1日
 学級数 20学級 校長 峰崎 隆司
 児童数 649人 教頭 長野 典子



- <教育目標> ・よく考える子 ・思いやりのある子
 ・ねばり強い子 ・体をきたえる子
 <研究主題> 児童が生き生きと活動する授業づくり
 <重点教科等> 「栄小スタンダード」（国語科・2年目）
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 「さわやか かっこ えがお の さかえ」
 —潤いと活力ある学校を目指して—
 (2) 取組内容
 ○魅力ある学級づくり
 = 児童が存在感を見出せる学級づくり
 ○メリハリのある教育
 = 「当たり前」の事を当たり前でできる（凡事徹底）
 ○研修体制の充実
 = 国語科「栄小スタンダード」の検証
 ○家庭学習の充実
 = 「家庭学習の手引き」の活用と自主学習の充実
 ○授業力の向上
 = ユニバーサルデザインの視点による授業づくり
 ○人権教育の推進
 = 「ハートの日」の活用
 ○積極的な生徒指導
 = 「栄っ子の自慢」づくりの推進
 ・明るいあいさつ ・きれいな学校
 ○開かれた学校づくり
 = 双方向の情報発信
 (3) 成果
 ・地域との連携が深まっている。
 ・「家庭学習の手引き」を活用した家庭学習の習慣化が身に付
 いてきている。

川柳小学校

創立年月日 明治6年1月15日
 学級数 22学級 校長 菅野 光三
 児童数 706人 教頭 奥村 勇



- <教育目標> かしく なかよく たくましく
 <研究主題> 笑顔と活気あふれる川っ子の育成
 <重点教科等> 草加っ子の基礎・基本(国語・算数)
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 子どもたち一人ひとりを大切に、笑顔と活気あふれる川柳小
 (2) 取組内容
 ①草加っ子の基礎・基本の推進
 ・校内研修（国語科・算数科）
 ・挨拶運動（学級・児童会・小中合同等）
 ・教科担任制（体育科（小中連携））
 ②体験活動の推進
 ・車いすバスケ体験教室
 ・県夢の配達便事業（タグラグビー）
 ・放送局アナウンス教室
 ③外部人材、学校応援団等の活用
 ・ケータイ安全教室
 ・伝統文化学習（茶道）
 ・家庭料理調理実習（市食生活改善推進員）
 ・読み聞かせ（くれよんの会）
 ・学校ファーム整備、安全見守りボランティア
 ④幼保小中連携の推進
 ・学校紹介（入学前園児）
 ・幼保小連絡協議会・小中連絡協議会
 ・青柳中、川柳中との連携
 (3) 成果
 ・体験活動の推進による自己肯定感等の増加
 ・校内研修の充実による着実な学力の向上

瀬崎小学校

創立年月日 昭和42年4月1日
 学級数 22学級 校長 浅賀 利一
 児童数 656人 教頭 林 奈緒美



- <教育目標> 心豊かで たくましい子
 《笑顔いっぱい学校》
 <研究主題>
 主体的に問題解決に取り組み、お互いの考えを共有し、生き生
 きと算数を学ぶ子の育成～主体的、協働的な学習を通して～
 <重点教科等> 算数科
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 「一人一人を大切に、笑顔と活気あふれる瀬崎小」
 (2) 取組内容
 ①まなびいっぱい
 ・学力の向上
 （基礎基本の徹底 読書の奨励 体験活動の充実 ユニバ
 ーサルデザインを取り入れた授業）
 ・学習規律の徹底
 （規則正しい生活習慣 きまりや約束を守る）
 ②たくましさいっぱい
 ・体力の向上（体育授業の充実 運動遊びの生活化）
 ・保健教育（養護教諭の授業参加・健康な体づくり）
 ・食育教育（栽培活動と栄養士の授業参加）
 ③やさしさいっぱい
 ・思いやりの心を育てる
 （道徳教育の推進 あいさつの推進 いじめを許さない学
 級、学校づくり）
 ・学習環境の整備（清掃活動の徹底 掲示の工夫）
 (3) 成果
 ①学習規律を守り、落ち着いて主体的に学習に望む姿勢が定着
 してきた。
 ②日常的に体を動かす児童やあいさつをかわす児童が増えてき
 た。笑顔が広がってきている。

西町小学校

創立年月日 昭和42年4月1日
 学級数 23学級 校長 森田 郷子
 児童数 718人 教頭 早津 次仁



<教育目標>

よく考え 工夫する子
 心豊かで 思いやりのある子
 たくましく ねばり強い子

<研究主題>

いきいき西町っ子の育成
 幼保小中連携を一貫とした教育の研究
 ～自ら学び、心豊かに、たくましく生きる子どもをはぐくむ 目指す「草加っ子」～

<重点教科等> 国語科・体育科

<特色ある学校づくりへの取組>

- (1) キャッチフレーズ
感動いっぱい 夢いっぱい みんな生き生き 輝け西町小
- (2) 取組内容
 - ① ICTやUD、AL等の学習活動や「パワーアップタイム」の実践による基礎学力の向上
 - ② 「朝マラソン」「青空タイム」「西町小体操」等をとおしての健康・体力の向上
 - ③ あいさつの励行、もくもく清掃の徹底等、積極的な生徒指導の推進
 - ④ 幼稚園・保育園・中学校の円滑な接続と教育の推進による連携を強化する。
 - ⑤ 朝読書や読み聞かせの実践、及び中央図書館との連携等の充実による読書力の向上
 - ⑥ 縦わり活動等、体験活動の充実による豊かな心の育成
- (3) 成果
 - ① ICTやUD、AL等の学習活動の実践により、学力向上が図られた。
 - ② 朝マラソンの取組や体育授業の充実、西町小体操の定着等により児童の体力が高まった。
 - ③ 幼・保・中との連携及びスムーズな接続が進んだ。

新里小学校

創立年月日 昭和45年4月1日
 学級数 23学級 校長 河野 健
 児童数 706人 教頭 寺本 博美



<教育目標>

かしこく なかよく たくましく

<研究主題>

「自分の思いや考えを持ち、言語で表現できる児童の育成」
 ～書く活動・読む活動をとおして～

<重点教科等>

国語科

<特色ある学校づくりへの取組>

- (1) キャッチフレーズ
誇りの持てる学校 新里小
にっこにこで さわやかあいさつ ともちいっぴいの学校
- (2) 取組内容
 - ① わかる－新里っ子の基礎・基本、漢字・計算の定着、本とのふれあい・読み聞かせ、少人数指導
 - ② 助け合う－兄弟学級交流活動、児童会活動（募金活動・リサイクル活動・子どもまつり）、自然教室
 - ③ 鍛える－マラソン・なわとび・相撲教室、各種大会の参加、水泳教室、プロサッカーチームの派遣授業
 - ④ ふれあう－学校応援団、ロング昼休み、平成塾、地域学習（皮革・せんべい焼き体験）の充実
 - ⑤ つながる－近隣の幼稚園・保育園・中学校・高等学校との連携交流授業、あいさつ運動、地域とのふれあい
- (3) 成果
 - ① 元気でさわやかなあいさつや返事ができる。
 - ② 子ども達を大切にする地域で素直な子が育っている。
 - ③ 陸上競技・なわとび・相撲等、各種大会の優勝・入賞者が増加した。

花栗南小学校

創立年月日 昭和47年4月1日
 学級数 15学級 校長 佐々木 毅
 児童数 412人 教頭 平野 晴彦



<教育目標>

考える子・思いやりのある子・体をきたえる子

<研究主題>

「自ら進んで考え、解決しようとする児童の育成」

<重点教科等> 算数

<特色ある学校づくりへの取組>

- (1) キャッチフレーズ
「潤いと活力のある花栗南小の教育」
- (2) 取組内容
 - ① 個に応じた教育を推進し、児童に生きる力を育成する。
 - 授業の充実による確かな学力と生きる力の育成
 - 少人数指導等の充実・家庭学習の習慣化の推進
 - ② 心潤う生徒指導による豊かな心の育成
 - 基本的生活習慣の定着「礼を正し、場を清め、時を守る」
 - 返事・あいさつの励行「あいさつじまん 南っ子」
 - 心の教育の充実
 - ・道徳教育の充実・読書体験と読み聞かせ・人権教育の充実
 - いじめ・不登校0を推進 いじめ防止対策基本方針
 - ・定期的な調査チーム体制での対応・早期発見、早期対応
 - ③ 個に応じた体力づくり
 - ・自己目標の設定・基礎体力の向上・元気まんてんカード
 - ・朝の運動の充実・各種体育的行事への積極的参加、啓発
- (3) 成果
 - ① 保護者の学校評価 あいさつができる児童92.5%
 - ② 学校図書館の年間貸出冊数15,000冊

八幡小学校

創立年月日 昭和48年4月1日
 学級数 27学級 校長 輿水 功
 児童数 805人 教頭 長谷川 晃



<教育目標>

勉強する子 良い子 強い子

<研究主題>

主体的に学ぶ児童の育成
 ～学び合い、共に高め合う授業作りを目指して～

<重点教科等>

算数

<特色ある学校づくりへの取組>

- (1) キャッチフレーズ
「子どもたち一人ひとりを大切にする八幡小」
- (2) 取組内容
 - ① 「やる気で勉強」
 - ・確かな学力の定着（授業の工夫改善・学習規律の確立）
 - ・意欲的に学ぶ力（家庭学習の習慣化）
 - ② 「はっきりあいさつ」
 - ・豊かな心の育成（元気なあいさつ、返事、靴そろえ、本とのふれあい一人20冊）
 - ・基本的生活習慣（早寝、早起き、朝ご飯）
 - ③ 「たくさん運動」
 - ・体力の向上（課題の克服・投力・走力・跳躍力）
 - ・主体的な体力づくり（一日一回汗をかく、グリーンコース100周、休まないで登校）
 - ④ 地域人材やボランティアの支援・協力で安心安全な学校生活と稲作体験
- (3) 成果
 - ① 草加市検証テスト95%超を達成した。
 - ② 各種大会の優勝・入賞者が増加した。

新栄小学校

創立年月日 昭和49年4月1日
学級数 16学級 校長 三好 正浩
児童数 476人 教頭 岡田 安弘



- <教育目標> なかよく かしく たくましく
<研究主題> 生き生きと学び、確かな学力を身につける児童の育成
<重点教科等> 算数科
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
新栄スタンダード
—あたり前の事があたり前にできる—
(2) 取組内容
①「新栄スタンダード—あたり前の事があたり前にできる—」の学校像を目指し、基礎基本の徹底、笑顔・潤い・心に響く特色ある教育活動
○基礎学力向上に向けた日々の授業の充実
○読書タイム・音読タイム・ドリルタイム・さわやかタイム等の取組の充実
②「笑顔いっぱい 瞳輝く新栄っ子」の実現に向けた特色ある教育活動
○あいさつ運動・なかよしタイム・スカイラウンジ給食等の給食指導の充実
③「世代を超えた平成塾との交流」による豊かな体験活動
○昔遊び・折り紙・フォークダンス・茶道・植栽活動等
(3) 成果
潤いと心に響く特色ある教育活動を、地域・家庭との連携により展開し、安全で安心な学習環境づくりへの努力に対して保護者・学校関係者からの評価を得ている。

清門小学校

創立年月日 昭和51年4月1日
学級数 32学級 校長 石崎 明子
児童数 1,030人 教頭 野原 修
教頭 大澤 英雄



- <教育目標> なかよく かしく たくましく
<研究主題> 基礎・基本を確実に習得し、問いを持って主体的に学習できる児童の育成
<重点教科> 算数科
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
『にこ、はい、ピン』
～笑顔であいさつ、はっきり返事、背すじをピン!～
(2) 取組内容
①児童を中心に据え、愛情と信頼のもとに一人ひとりの児童を大切にする教育活動
②時代の要請に柔軟に対応し、新しい教育の在り方を研究、実践するとともに、基礎・基本の学習の徹底
③体力の向上を図るとともに、心身ともにたくましい児童の育成
④道徳教育の充実に努めるとともに、全教育活動を通じて、いじめを許さない思いやりのある児童の育成
⑤幼保小中の連携を通して、「自ら学び、心豊かに、たくましく生きる」児童の育成
⑥「算数科」における指導法の工夫・改善
⑦「環境が人を育てる」を銘として、安全で清潔な教育環境の整備。言語環境を整え信頼関係に基づいた好ましい人間関係の醸成
⑧特別支援学級との交流教育等とおして、互いに認め合い尊重し合う、心豊かな児童の育成
(3) 成果
○上級生が下級生を思いやる事ができ、豊かな心が育ち、あいさつが廊下でも聞こえることが増えてきている。
○「清門スタンダード」の推進により、発言が増え、人の意見を静かに聞けるようになってきている。

稲荷小学校

創立年月日 昭和52年4月1日
学級数 18学級 校長 柳武 尚広
児童数 525人 教頭 永沼 次郎



- <教育目標> かしく なかよく たくましく
<研究主題> 学び合い、関わり合い、自らの学びを深める児童の育成
～国語科授業のユニバーサルデザインを通して論理的な読みの力を高める工夫～
<重点教科等> 国語科
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
花さく 夢さく 笑顔さく 明日への希望 いなりっ子
(2) 取組内容
①学び合い、関わり合い、自らの学びを深める授業
・授業のユニバーサルデザイン化・個人内評価の重視
・自分の考えを表現につなげる指導
・個別の支援の推進と特別支援教育の視点を持つ授業の実践
②一人ひとりを生かす生徒指導の充実
・基本的生活習慣の確立と積極的な生徒指導の推進
・あいさつ、廊下歩行、無言清掃・いじめ撲滅
・報告、連絡、相談体制の確立
・歌声のひびく学校・道徳教育の充実・人権教育の推進
・福祉教育の充実・特別支援教育の充実
③健康・体力づくりの充実
・体育授業の充実・外遊びの励行・新体力テストの課題解決
・むし歯ゼロ、性に関する啓発指導、薬物乱用防止教育、携帯電話に関する指導・安全教育の充実・食育の推進
④落ち着いた教育環境の整備充実
・清掃活動の充実・掲示教育の充実・施設、設備の安全管理の徹底
⑤地域に根ざす教育の推進
・開校40周年事業の推進・幼保小中連携・家庭地域との連携
・学校ホームページの充実
(3) 成果
①教室環境のユニバーサルデザイン化が進み、落ち着いた環境で学習できるようになった。
②地域に根ざす教育が推進され、学校・家庭・地域が一体となった教育活動の充実が図れた。

氷川小学校

創立年月日 昭和52年4月1日
学級数 19学級 校長 小松 薫樹
児童数 561人 教頭 皆川 賢司



- <教育目標> 学びあい 助けあって 自分を高める
<研究主題> 自分の思いや考えをもち、伝え合うことのできる児童の育成
～国語科における話し合う活動の工夫を通して～
<重点教科等> 国語科
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
潤いと響き
子どもたち一人ひとりを大切にするあたたかな学校
(2) 取組内容
①子どもたち一人ひとりが伸びる学校
(教育課程を完全実施し、授業の質を高める)
②子どもたち一人ひとりが生き生きとする学校
③保護者・地域とともに歩む学校
④教育環境を大切にする学校
(3) 成果
①平成26・27・28年度国語科を中心に研究を行った。
(話す活動を中心に)話すことへの自信が高まり、意欲的に話す活動ができるようになった。
②一人ひとりを大切にする教育活動を全ての教育活動で展開したことで、自己有用感が高まり、他者を思いやる場面も多く見られるようになった。

八幡北小学校

創立年月日 昭和54年4月1日
学級数 16学級 校長 村山 岳視
児童数 486人 教頭 菊地 直樹



- <教育目標>
なかよく(徳) かしく(知) たくましく(体)
<研究主題>
自ら学び、ともによりよく生きようとする児童の育成
<重点教科等>
体育科
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
「咲け 実れ 八北の子」
(2) 取組内容
①積極的な生徒指導を徹底する(凡事徹底)
②学級経営を大切に学習指導
③学年で取り組む教育指導
※5つの「0」
いじめ0・不登校0・学校事故0・むし歯0・給食未納0
④体育科を中心に技能を確実に身に付ける指導法の工夫
⑤朝の読書タイムの充実
⑥週1回朝のスポーツ(4分間走・なわとび)
⑦地域との連携(八北まつり・みどりの学校ファーム八北農園等)
(3) 成果
①基本的な生活習慣・学習規律が身に付いてきている。
②体育科の指導方法について綿密な計画のもと、充実した学習活動が成立し、運動に親しむ児童が多くなった。
③交流活動をとおり、豊かな心の醸成につながった。
④読書活動をとおり、本に親しむ習慣が付いてきた。

長栄小学校

創立年月日 昭和55年4月1日
学級数 15学級 校長 水澤 節子
児童数 459人 教頭 村田 隆一



- <教育目標>
よく考える子(知) 思いやりのある子(徳) たくましい子(体)
<研究主題>
「おや?」「できた!」「なるほど!」子どもの心が動き出す算数授業の創造
<重点教科等>
算数科、幼保小中一貫教育
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
「夢に向かってがんばり続ける子」
(2) 取組内容
①学力を伸ばす授業の実施
◇基礎・基本の確実な定着
◇意欲を引き出す算数の授業研究
◇伝える、話し合う等の言語活動の充実
②人、本、自然とのふれあい体験の実施
◇読書・音読活動・ペア学級の活動の充実
総合的な学習の時間での学習環境の充実
③地域や平成塾との連携・交流
◇平成塾による読み聞かせ・茶道教室等
◇地域によるぼうはん隊活動
(3) 成果
①基礎学力の定着が図られている。
②地域の協力を得ることが多く、連携や開かれた学校づくりに成果を上げていた。(保護者アンケートから)
③算数の研修を進めることで、児童が達成感を味わう授業を推進できた。

青柳小学校

創立年月日 昭和57年4月1日
学級数 14学級 校長 益岡 和正
児童数 401人 教頭 田代 義明



- <教育目標>
あ:明るく元気な子 お:思いやりのある子
や:やりとげる子 ぎ:きたえる子
<研究主題>
自ら学び、共に高め合い、最後まで『やりとげる子』の育成
～小中一貫教育の視点と
アクティブ・ラーニングの手法を通して～
<重点教科等> 国語科 算数科
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
「明るく 元気で 笑顔輝く 青柳小」
(2) 取組内容
青小っ子の基礎・基本の定着
①学力向上(やりとげる子)
・授業の充実と家庭学習の習慣化
・小中連携を活かした授業づくり
②体力向上(きたえる子)
・生涯スポーツの視点に立った体力づくり
・体育の研究を通じた授業力向上
・外遊びの奨励
③豊かな心(思いやりのある子)
・道徳教育の充実
・特別支援教育の推進
・規律ある態度
(3) 成果
・児童の学び合おうとする意識が高まり、認め合おうとする態度が身に付いた。
・授業研究や実技研修会をとおり、教師の指導力が向上した。
・児童の運動意欲の向上と新体力テストの結果の向上が見られた。

小山小学校

創立年月日 昭和57年4月1日
学級数 17学級 校長 鈴木 雅彦
児童数 453人 教頭 渡部 涼子



- <教育目標>
進んで学ぶ子、体をきたえる子、思いやりのある子
ねばり強い子
<研究主題>
豊かな言葉で、自分の思いや考えを伝え合うことができる児童の育成
～書く活動をとおり伝え合いを深める国語の授業～
<重点教科等>
国語科
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
「学びいっぱい、友だちいっぱい、汗いっぱいの夢膨らむ学校」
(2) 取組内容
①基礎学力の定着
・基礎・基本の確実な定着をめざしたドリル学習の実施
・学び合いができる学習集団づくり
・小山小授業の約束の徹底指導
②健康・体力の向上
・運動量豊富な体育授業の実施 ・積極的な外遊びの励行
・運動と望ましい食習慣の育成
③「小山小5つのします」の徹底指導
・命を大切にします ・あいさつをしっかりとします
・友達と仲良くします ・そうじを一生懸命します
・家庭学習をします
(3) 成果
①基本的な生活習慣、学習習慣が身に付いてきた。
②漢字や計算の学習を意欲的に取り組む児童が増えてきた。
③異学年の友だちと進んで遊ぶ児童が増えてきた。

両新田小学校

創立年月日 昭和57年4月1日
 学級数 16学級 校長 中村 俊臣
 児童数 438人 教頭 加藤 治



- <教育目標> 進んで学ぶ子 やさしい子 たくましい子
 (学力・気力・体力の3つの力もちの子どもの育成)
- <研究主題> 能動的に取り組む児童を支える授業の設え
 ～達成感・成就感による自己肯定感の育成をねらって(算数科をととして)～
- <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ
 『 あたたかい心・あつい思い 』
- (2) 取組内容
- ①縦わり活動
 交流給食・交流遊び(ハッピーペアタイム)
 - ②両小っ子の基礎・基本の徹底
 チャレンジタイム、サマースクールの実施で学力向上
 - ③礼を正し、時を守り、場を清める
 教職員・児童・保護者・地域の方々に見える活動をととして、健全育成を推進
 - ④幼保小中の積極的な連携
 幼保・小連携事業の実践校 小中連携あいさつ運動
 - ⑤地域の中で輝く学校
 下校時見守り、朝の読み聞かせ、体験(ものづくり、箏の演奏・茶道体験等)、学校・PTA・地域一体となった学校応援団活動
- (3) 成果
 温かい地域に見守られ、児童は、やさしい子に育ち、落ち着いた授業態度、元気いっぱいの毎日で、楽しい学校生活を送っている。

松原小学校

創立年月日 平成21年4月1日
 学級数 14学級 校長 中河 正明
 児童数 386人 教頭 小林 和美



- <教育目標> 心身ともに健康で、自ら学ぶ子
- <研究主題> 『主体的に学び表現する喜びを感じる学習の創造』
- <重点教科等> 学力向上「国語科」を中心とした取組
 ～豊かな言語活動の充実を図る指導をととして～
- <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ
 『 みんなで力を合わせ、元気いっぱい、
 笑顔いっぱいの学校 』
- (2) 取組内容
- 学校応援団等の地域力を活用した自然・社会体験的な教育活動のより一層の充実を図る。
 - 朝のあいさつ運動を地域の方や保護者と共に推進し毎日元気と笑顔いっぱいの豊かな心の児童育成を目指す。
 - 全国及び県学力調査の結果検証から課題解決に着実に取り組み、確かな学力の向上を目指す。
 - 毎日の「すこやかタイム(業間マラソン)」で「たくましい体」づくりを推進する。
 - 小中学校との連携による外国語活動の充実を図る。家庭学習の啓発により「自ら学ぶ」子の育成の推進
 - 『歌声いっぱい』松原小ボランティアバンクはなぐり物語による『読み聞かせ』や、『俳句づくり』などの「特色ある学校」づくり。
- (3) 成果
- 保護者・地域の方の支援を得て、児童一人ひとりの個性を大切にした教育活動の充実が図られている。
 - 重点教科「国語科」の研究を推進し、授業の工夫・改善をPDCAサイクルで検証・実践し、環境を整備する中で児童への確実な学力の定着が図られてきている。

市立中学校の紹介

(生徒数・学級数は、平成28年5月1日現在)

学校紹介の内容

＜教育目標＞
＜研究主題＞
＜重点教科等＞
＜特色ある学校づくりへの取組＞

- (1) キャッチフレーズ
- (2) 取組内容
- (3) 成果

など

草加中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 25学級 校長 並木 正成
生徒数 793人 教頭 小林 和広



- ＜教育目標＞
目標を持ち努力する生徒
- ＜研究主題＞
「草加っ子の基礎・基本」
（「教育に関する3つの達成目標」）の定着
- ＜重点教科等＞
全教科・領域
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞
- (1) キャッチフレーズ
「あ・か・つ・き」の実践
 - (2) 取組内容
 - ① 幼保小中の一貫した教育を通して、校区内の幼保小との連携を深め、わかる授業の実践と基礎・基本の定着に取り組み、豊かな人間性と確かな学力の向上を図る。
 - ② 生徒の目指す「あかつき」を支援する。
あ・・・明るい あいさつ（規律）
か・・・活発な かつどう（自主）
つ・・・強い つながり（友情）
き・・・今日を きり開く（向上）
 - ③ 授業や部活動を積極的に推進し、学力・体力の向上を図る。
また、安全・安心な教育環境を整備し、健康教育の充実を図る。
 - (3) 成果
 - ① 向上心を持ち、共に協力し合い、意欲的な学校生活を送り、明るく活発な学校の雰囲気が醸成された。
 - ② 漢字・計算・スペリングのコンテストを実施し、基礎・基本の定着を図ることができた。
 - ③ 部活動は、市内予選会で上位の成績を収め、県大会出場を果たし、文武両道を実践することができた。

栄中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 17学級 校長 橋本 政幸
生徒数 552人 教頭 遠藤 淳一



- ＜教育目標＞
○自ら学び考え行動する生徒
○豊かな心を持ち思いやりのある生徒
○健康でたくましい生徒
- ＜研究主題＞
「確かな学力の向上を目指して」
～全ての学校教育活動を通して道徳的実践力を育成する～
- ＜重点教科等＞ 全教科等
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞
- (1) キャッチフレーズ
「いいところ探しの学校」
【さ】 爽やかなあいさつ
【か】 輝く笑顔
【え】 英気あふれる
 - (2) 取組内容
 - ① 各教科の基礎・基本の定着及び確かな学力の向上
・補充学習・言語活動の充実・アクティブラーニング
 - ② 生活指導の充実
・あいさつ・言葉遣い・規範意識・授業態度
 - ③ 学校行事の充実
・目標の明確化・体験活動の推進・ボランティア活動
 - ④ 環境教育の充実
・清掃活動・緑化活動・リサイクル活動・さかえ農園
 - ⑤ 豊かな心の育成
・いじめ、暴力の根絶・人権尊重・命の大切さ
 - (3) 成果
 - ① 粘り強い取り組み姿勢から、学習内容が身に付くようになり、自己実現を図ることができるようになってきた。
 - ② 規範意識をもち、落ち着いて生活する生徒が多くなった。
 - ③ 学校全体で落ち葉はきや除草、ゴミ拾いなどを行い、環境を整えようとする姿勢を育てることができた。

谷塚中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 21学級 校長 野口 繁
生徒数 710人 教頭 中谷 浩一



- ＜教育目標＞
○自ら学ぶ生徒（知）
○思いやりのある生徒（徳）
○自ら鍛える生徒（体）
- ＜研究主題＞
生徒一人ひとりに確かな学力を身に付けさせる指導法の研究
～小中連携による具体的な取組の実践～
- ＜重点教科＞
全教科・特別支援教育
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞
- (1) キャッチフレーズ
「文武両道」
 - (2) 取組内容
 - ① 「わかる授業」による確かな学力の育成
・数学・英語の少人数指導の充実
・授業を中心とした研修の充実
・家庭学習ノートを使った学習習慣の確立
 - ② 学校間連携を図った、キャリア教育の充実
・県立草加南高校、学区内小学校との交流
・近隣高校との出前授業の実施による学ぶ意欲の向上
 - ③ 地域社会との交流をととした豊かな心の育成
・保護者、地域の人材をいかした教育活動
・部活動指導の充実
・地域の行事への参加
 - ④ 70年の伝統に根ざした教育
・あいさつ運動、部活動
 - (3) 成果
学校間連携や地域との交流をととし、さわやかなあいさつの定着、主体的な学習活動への取組、部活動の充実、諸行事等への積極的な態度が育成された。

川柳中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
（生徒16学級 校長 本間 錦一
生徒数489人 教頭 分須 清博



<教育目標>
「賢く・優しく・逞しく」
<研究主題>
「自己肯定感を持ち、意欲的に学ぶ生徒の育成」
～川柳中SMTスマイルプランを通して～
<重点教科等>
全教科・領域
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) 目指す学校像
『情熱と教育愛に満ちた教職員が躍動し、知性あふれる善良な生徒が集う学校』
(2) 取組内容
①学習意欲を高め、学力を向上させる授業の工夫
②生徒を認め、鍛え、育む中での自己肯定感の育成
③小中一貫教育の推進
④保健・給食指導の充実及び体力の向上
⑤生徒の自立を促す学年・学級経営の充実
⑥学校力を高める校内研修の充実
⑦潤いのある学校環境の整備と美化の推進
⑧保健・給食指導の充実及び体力の向上
⑨豊かな人間関係の育成
(3) 成果
学校評価アンケート「授業の内容が分かる」「授業は分かりやすく、楽しい」「授業の5原則を守るよう心がけている」については向上している。
また、「部活動に積極的に取り組んでいる」も向上しており、「自己肯定感の向上」を目指した取組の効果で、学習・部活動・その他の諸活動に積極的に関わる生徒が増えてきている。

新栄中学校

創立年月日 昭和49年4月1日
学級数18学級 校長 川原田 一郎
生徒数604人 教頭 河本 静夫



<教育目標>
1 自ら学ぶ生徒 (知)
2 思いやりのある生徒 (徳)
3 健康でたくましい生徒 (体)
4 正しい行動のできる生徒 (社会性)
<研究主題>
「基礎学力の向上と家庭学習の充実」
学力向上とスキル教育をとおして、生きる力を育む
<重点教科等>
全教科・領域
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
「明るく活力のある新栄中学校」
(2) 取組内容
①知一朝読書、基礎基本を重視した授業、木曜テスト
授業6ヶ条、英語検定、漢字検定、学習相談
②徳一PTAとの朝のあいさつ運動、
環境教育（学校ビオトープ、野鳥観察会）
全校で協力して取り組む行事（体育祭、文化祭）
③体一基礎体力づくり、種目選択体育授業、活発な部活動
④社会性一スキル教育、体験型学習
⑤中高の連携一リトルティーチャーによる国語（書写）、理科等の教科での交流
⑥小中連携の推進（数学科・英語科の乗り入れ授業の実施、合同研修会、合同野鳥観察会）
(3) 成果
朝読書や授業をとおして、基礎基本の定着及び学力の向上が図れた。また、環境教育やスキル教育の実践により、豊かな心や社会性が着実に身に付いてきている。

瀬崎中学校

創立年月日 昭和51年4月1日
学級数22学級 校長 川崎 淳一郎
生徒数732人 教頭 高安 健次



<教育目標>
自らの生き方を考え、実践する生徒の育成
「よりよく生きる」
<研究主題>
○自ら考え、一人ひとりが本気で学ぶ生徒の育成
<重点教科等> 全教科・領域
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) 幼・保・小・中連携の取組
(2) 取組内容
①「授業の五原則」の徹底
・授業の用意をして待つ。・チャイム着席
・あいさつしっかり・忘れ物をしない・むだ話をしない
②豊かな教養
・基礎学力の定着、意欲・関心を高める個に応じた授業の展開、保育実習、性出会い学習
③豊かな心
・あいさつ運動（保護者・生徒・職員での愛の一声運動）、
規律ある態度の定着、ボランティア活動（高齢者運動会）、
花いっぱい運動、美化活動（保護者・地域の方と共に）
④健やかな体
・部活動への積極的参加と充実
・運動会での小学校（6年生対象）との交流種目
⑤未来
・社会体験事業、上級学校訪問、ふれあい講演会
(3) 成果
地域の皆様とのふれあいや様々な体験をとおし、認め合い共に生きる心が培われている。地域の人材を活用し、生徒の興味・関心に応じた学習を行い、自己の生き方について問い直す力が付いてきている。

花栗中学校

創立年月日 昭和52年4月1日
学級数16学級 校長 野村 真一
生徒数491人 教頭 阪田 晴紀



<校訓> 「自主創造」
<教育目標> 「自ら考え、心豊かに、たくましく生きる」
○ 学力を伸ばす生徒 (知)
○ 豊かな心を育てる生徒 (徳)
○ 心身共に健康な生徒 (体)
<学校生活の指針>
「生きる力4カ条」
1 時間を守る力
2 授業に真剣に臨む力
3 身だしなみを整える力
4 わきまえた言葉遣いのできる力
<研究主題>
「言語活動を充実し、生徒一人ひとりが主体的に取り組む授業づくり」
・学ぶ力を身に付ける生徒の育成
・豊かな心を育む道徳の時間の充実
<重点教科等> 全教科・領域
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) めざす学校像「夢、ふれあい、感動のある学校」
(2) 取組内容
①学習指導の充実
・分かる授業の推進と基礎学力の定着
・授業規律の確立、家庭学習を習慣化させる取組
②生徒指導・教育相談の充実
・「目をかけ、手をかけ、声をかける」指導の促進
③豊かな心を育む教育の推進
・生きる力4カ条の実践・道徳教育の充実
④心潤う生活環境づくり
・「ふれあい広場」、「憩いの花空間」の有効活用
(3) 成果
PTA活動への積極的な参加・協力及び地域の方々の理解・協力により、生徒たちは授業や行事に主体的に取り組んでいる。

両新田中学校

創立年月日 昭和54年4月1日
学級数 17 学級 校長 水澤 郁夫
生徒数 527人 教頭 高橋 整



- <教育目標>
自ら学び 心豊かに たくましく
- <研究主題>
生徒一人ひとりを大切に、夢と絆を育む学校
- <重点教科等>
・学ぶ意欲を高める授業の充実
・主体性を伸ばす生徒指導の充実
・仲間を大切にする学校
・特別支援教育の充実
・家庭・地域・小学校との積極的な連携
- <特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
生徒一人ひとりを大切にする教育の実現
(2) 取組内容
○一人ひとりに基礎基本を身に付けさせる
(生徒理解に基づく指導と評価の実践)
○一人ひとりの良さや可能性を見だし伸ばす
(生徒に内在するものを引き出す教育力)
○一人ひとりの命・健康を守る
(共助の学びと絆づくり、学校安全)
(3) 成果
一人ひとりを大切にするという基本方針に係る理念が定着浸透し、それぞれの教育活動において全教職員の共通理解のもと指導改善が進められた。さらに、「授業」を核として、学ぶ意欲の向上や一人ひとりの個性の伸びを重視する具体策を展開するなど、一層の学校改善に努めることができた。

新田中学校

創立年月日 昭和55年4月1日
学級数 16 学級 校長 笠井 誠司
生徒数 567人 教頭 鈴木 恒次



- <教育目標>
豊かな心と学ぶ意欲をもち
広い世界でたくましく生きる生徒
- <研究主題>
自ら学び、心豊かに、たくましく生きる
～ 新田中生15歳の姿 ～
- <重点教科等> 全教科・領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
大きな夢 明るいあいさつ 美しい心 きれいな学校
(2) 取組内容
☆自ら学び 【基礎学力】
・自ら考え学ぶ意欲の向上を目指す。
基礎、基本の習得と活用
言語活動の充実と表現力、思考力、判断力の育成
☆心豊かに 【規律ある態度】
・豊かな心、美しい心の育成を目指す。
規律ある生活の徹底(礼を正す、場を清める、時を守る)
特別活動の充実(行事をとおして子どもを育てる)
☆たくましく 【健康・体力】
・心身が健康でたくましい生徒の育成を目指す。
規範意識の醸成
保健教育、安全教育の充実
☆「学び」と「心」 【子ども教育連携推進】
・中学校区の幼保小中の連携を図る。
中学校区の小学校との円滑な接続
ペアスクールとしての交流活動の充実
(3) 成果
落ち着いた環境で学習しており、規律ある学校生活をしている。幼保小との連携が進んできた。

青柳中学校

創立年月日 昭和56年4月1日
学級数 14 学級 校長 及川 祐一
生徒数 448人 教頭 佐久間 郁男



- <教育目標>
自ら考え実践する生徒(知)
心豊かで思いやりのある生徒(徳)
健康でたくましい生徒(体)
- <研究主題>
不登校解消に向けた学力向上と幼保小中連携の取組の研究
- <重点教科等>
全教科・領域、教育相談・生徒指導
- <特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
「生徒が輝き、教師が輝き、自ら誇れる青柳中」
育もう青中4つの心！
「あ 明るい心 お 思いやりの心
や やり抜く心 ぎ 正義の心」
青柳4つの誇り！「挨拶 歌声 集会 部活動」
(2) 取組内容
①基本的生活習慣や行動様式の定着
(凡事徹底、無言集会、積極的な生徒指導)
②確かな学力の核となる、基礎・基本の確実な定着
(朝読書、家庭学習ノート、研究授業の実施)
③元気あふれる生徒、活気ある教職員
(教職員・生徒会・部活動による朝のあいさつ運動)
④生涯を通じた健康・体力づくりの推進
(授業や部活動での体力向上、食育・健康教育)
⑤互いに尊重し合い、いじめのない学校
(人権教育、特別支援教育の推進)
(3) 成果
①学習規律を大切に授業実践により基礎・基本の定着
②あいさつ・礼儀を身に付けた良好な人間関係の定着
③意欲的な部活動をととした健康な心身の育成

松江中学校

創立年月日 昭和60年4月1日
学級数 15 学級 校長 森 真一
生徒数 467人 教頭 小林 一男



- <教育目標>
ま：学ぶ意欲のある生徒 <かしこく>
つ：強い心と体をもつ生徒 <たくましく>
え：笑顔あふれる生徒 <あたたかく>
- <研究主題>
学力の向上と豊かな心の育成を目指して
～小中一貫教育の取組から～
- <重点教科等>
全教科
- <特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
「笑顔あふれる松江中」
(2) 取組内容
①小中一貫教育推進部会の設置
(小中の教頭、教務、研究主任で組織)
②教科会の充実と授業研究の実践、年間指導計画の見直し
学力向上のテーマ「板書」と「ノート指導」
③研修会による学校課題の共通理解
ワークショップ形式の研修会を計画
ベテラン教員から学ぶ場とする。
④義務教育9年間を見通した小中一貫教育の取組
交流活動の創造
「板書」と「ノート指導」について、9年間で磨く。
(3) 成果
「学力向上」「道徳教育の推進」「進路指導の充実」の3部会を継続し、「学習意欲の高い生徒」「あきらめない強い心を持つ生徒」「目標を持った生活ができる生徒」を目指す生徒像とし、着実に「学力向上」と「豊かな心」を育み、「笑顔あふれる学校」創りが推進されている。

III 生涯學習

地域の力をはぐくむ生涯学習活動の推進

1 生涯をととした多様な学習機会の充実

(1) 草加市社会教育委員

社会教育の助言機関として、第三次生涯学習基本計画の策定、施策等に対する意見具申により、草加市にふさわしい生涯学習社会の構築を図ります。

(2) 生涯学習情報提供サイトの運用

学習情報の収集・提供、指導者やサークルの活動紹介及び学習相談などの機能を持ち、市全域にわたる生涯学習情報を検索できるインターネット上のサイトを運用し、市民の活用を進めます。

(3) 指導者バンクの活用

生涯学習に関する専門的な知識や経験、技能等のある人を生涯学習指導者として発掘、登録し、その情報の提供及び活用を図ります。

指導者バンク制度の周知及び指導者の活動の場を広げるために、生涯学習体験講座を開催します。

指導者バンク

年度	登録者数	活用者数
H25	99 人	17 人
H26	96 人	32 人
H27	80 人	32 人

(4) 生涯学習情報紙等の発行

市民への生涯学習情報発信のため、生涯学習情報紙『マイ・ステージ』を発行します。市内で活動しているサークルの情報をまとめたガイドブックを隔年で発行します。

(5) そうか市民大学の充実

「人をつくる・人と出会う・まちをつくる」を建学の理念とし、市民との協働による生涯学習社会の構築のため、市民大学推進委員会とともに講座の企画・運営を行います。

開学 12 年目を迎える本年度は、前期・後期講座、特別公開講座を開講します。

(6) 大学公開講座への支援

獨協大学オープンカレッジの講座及び上野学園大学短期大学部の公開講座を支援します。

(7) 社会教育関係団体の育成

社会教育に関することを主な目的として、活動する社会教育関係団体の登録や活動支援を行います。

社会教育関係団体

年度	登録団体数
H25	443 団体
H26	452 団体
H27	448 団体

(8) 新成人のつどいの開催

社会を担う成人としての自覚と自立を促すとともに、生涯にわたる学習活動を進める機会として、新成人のつどいを開催します。

(9) 子ども大学そうかの開校

子どもの学ぶ力や生きる力をはぐくみ、地域で子どもを育てる仕組みをつくるため、

獨協大学との共催により平成27年度から開校しました。

獨協大学の教授や地域の専門家が、楽しく、分かりやすく講義します。

2 生涯学習施設の整備とネットワーク化の推進

(1) 生涯学習施設の整備

市内公民館・文化センター及び栄小学校開放施設の一般使用について、施設の適正な管理・維持を図るとともに、事業の充実に努めます。

(2) 平成塾の管理運営

地域の高年者の触れ合いや生きがい、共同学習の場として、また、地域の子どもたちとの世代間交流の場として、平成塾の活動を支援します。

文化遺産の保存と活用

(1) 文化財の保存・活用

貴重な文化遺産を郷土の文化財として保存・活用するために、指定文化財のパトロール及び埋蔵文化財包蔵地の管理を行います。

市内小学校に入学した新1年生に対し、『草加お宝かるた』を配付することで、子どもたちの郷土に対する愛着と誇りを醸成します。

(2) 文化財保護審議会

文化財保護審議会は、教育委員会の諮問に応じて文化財の保存及び活用に関して審議するとともに、必要と認める事項を建議します。

(3) 国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」の保存・活用

国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」保存活用計画の策定を中心として、未永く草加松原の景観の保存活用が図られるよう体制整備に努めます。

(4) 歴史講座

市民を対象に、草加の歴史に関する様々なテーマで講座を開催します。

年 度	テ ー マ
H25	今市宿・杉並木・裏見の滝等（全て日光市）見学
H26	日光市「ガンマンガ淵を訪ねて」として、同市内の浄光寺、化け地藏、憾満ヶ淵、松尾芭蕉句碑その他を見学
H27	草加近在の地域文化などをテーマとし、毎月歴史講座や企画展講座を開催（日光道中(街道)と参勤交代や草加宿前史、更級日記から見た関東の支配状況など）

生涯学習施設の紹介

○公民館

〔中央公民館〕

開館年月：昭和41年7月

(昭和56年10月移転)

所在地：草加市住吉二丁目9番1号

電話番号：922-5344

FAX番号：925-0152

構造・面積：鉄筋コンクリート造3階建

延床面積 4,497.91m²

敷地面積 6,220.1m²

・施設内容

(単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	415	第2体育室	84
第1会議室	46	視聴覚室	60
第2会議室	24	美術工芸室	20
第3会議室	26	第1講座室	54
クラブ室	18	第2講座室	37
調理室	40	図書室	—
和室研修室	35	ギャラリー	—
第1体育室	167		

平成28年度主要事業：小学生の職場訪問、伝統文化教室、にじいろタイム、スポーツ吹矢体験講座、SKT24高年者健康エクササイズ、さわやかシニア大学、青少年コンサート、第44回中央公民館まつり、第25回美術展、ギャラリーミニアラカルト ほか

〔柿木公民館〕

開館年月：昭和44年5月(平成14年9月移転)

所在地：草加市柿木町1263番地

電話番号：931-3117

FAX番号：933-2501

構造・面積：鉄筋コンクリート造2階建

延床面積 970.27m²

敷地面積 1,976.28m²

・施設内容

(単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	130	和室会議室	20
調理実習室	20	会議室	30
実習室	24	図書室・学習室	—

平成28年度主要事業：第48回柿木公民館まつり(第9回柿木郷土まつり)、柿木子ども新聞発行、子ども自遊空間、第15回柿木親子クリスマス会、自然観察教室、親子で元気ルーム、高年者の元気ルーム、成人文化講座、スプリングコンサート、SKT24柿木みんなでラジオ体操、柿木の芸術家たち展 ほか

〔谷塚文化センター〕

開館年月：昭和52年1月

(平成19年4月移転)

所在地：草加市谷塚仲町440番地

電話番号：928-6271

FAX番号：928-6272

・施設内容

(単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
相談室	20	第1楽屋	12
第1学習室	60	第2楽屋	6
第2学習室	50	中会議室	30
実習室	45	小会議室	20
第1和室	35	家庭科室	45
第2和室	25	図書室	—
ホール	300	託児室	—

(家庭科室、図書室は小学校との共用施設)

構造・面積：鉄筋コンクリート造4階建

延床面積 2,330m²

敷地面積 18,756m²

(敷地面積は、谷塚小学校、谷塚児童クラブを含む)

平成28年度主要事業：小学生との世代間交流、子ども自然・科学教室、高年者学級、すくすくクラブ、第38回谷塚文化センターまつり、第14回地域音楽のつどい、綾瀬川コーラス教育、谷塚少年少女合唱教室、ロビーコンサート、子ども相撲教室 ほか

〔川柳文化センター〕

開館年月：昭和55年4月

所在地：草加市青柳六丁目45番17号

電話番号：936-4088

FAX番号：930-1509

構造・面積：鉄筋コンクリート造3階建

延床面積 1,359.23m²

敷地面積 3,301m²

・施設内容

(単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
体育室	200	和室研修室	30
クラブ室	20	調理室	30
視聴覚室	30	図書室 学習室	—
会議室	50		
実習室	30	託児室	—

平成28年度主要事業：夏休み子ども教室、公民館ボランティア講座、高年者のたまり場「ひびき」、第37回川柳文化センターまつり、吹奏楽演奏会 ほか

〔新田西文化センター〕

開館年月：平成22年4月

所在地：草加市清門三丁目49番地1

電話番号：942-0778

FAX番号：946-1508

構造・面積：鉄骨造2階建

延床面積 1225.48m²

敷地面積 2136.79m²

・施設内容

(単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	200	和室	20
第1会議室	24	調理室	24
第2会議室	36	図書コーナー	—
第3会議室	54	託児室	—
実習室	24	準備室	—

平成28年度主要事業：子どもサマーランド、放課後クラブ、家庭教育学級、高年者学級「笑いのつどい」、SKT24地域はつらつ元気体操教室、第4回伝統芸能発表会、第7回新田西文化センターまつり ほか

〔新里文化センター〕

開館年月：平成26年4月

所在地：草加市新里町983番地

電話番号：927-3362

FAX番号：920-1504

・施設内容

(単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	193	和室	24
第1会議室	24	調理室	30
第2会議室	45	図書コーナー	—
第3会議室	40	託児室	—
実習室	24	準備室	—

構造・面積：鉄骨造 2 階建

延床面積 1373.48m²

敷地面積 2373.38m²

平成 28 年度主要事業：子どもクラブ、子ども環境学習教室、伝統文化教室、すくすくクラブ、スポーツ吹矢体験講座、高年者学級、いきいき楽集クラブ、SKT 24 地域はつらつ元気体操教室、第 3 回新里文化センターまつり ほか

○歴史民俗資料館

開館年月：昭和 58 年 11 月

所在地：草加市住吉一丁目 11 番 29 号

電話番号：922-0402

FAX 番号：922-0402

構造・面積：鉄筋コンクリート造 2 階建

延床面積 696m²

敷地面積 766.18m²

・来館者の推移

年度	来館者数
H25	14,352 人
H26	16,238 人
H27	16,763 人

郷土の歴史資料や民俗資料などを収集・保管・展示することにより、教育・学術・文化の発展に寄与することを目的とし、昭和 58 年 11 月に開館しました。

建物は、大正 15 年に県下初の鉄筋コンクリート造校舎として建設された草加小学校西校舎を改修したものです。耐震・耐火に優れ、また、屋上にドッチボールなどをして遊べるスペースが設けられるなど、建設当時としては大変近代的な建造物でした。平成 20 年 10 月には、「造形の模範になっている」建造物であることが認められ、国の登録有形文化財に登録されました。

このことを受け、歴史民俗資料館の文化財としての更なる活用と施設の管理運営の充実を図るため、平成 21 年度からは平成 18 年度から導入していた指定管理者制度を廃止し、管理運営を草加市教育委員会の直営としています。

当館では、2,671 点（平成 27 年度末）余りの資料を収蔵しています。平成 25 年 4 月 16 日には来館者 20 万人を達成し、平成 27 年度末（平成 28 年 3 月 31 日）には、合計 246,793 人の来館者となりました。

草加市立中央図書館

開館年月：平成12年4月1日

所在地：草加市松原一丁目1番9号

電話番号：946-3000

FAX番号：944-3800

構造・面積：鉄骨・鉄筋コンクリート造地上5階建

専有面積 4,803.54 m²

【平成28年度 図書館運営方針】

中央図書館では、地域サービスとしての図書館ネットワーク網を活用し、生涯学習社会の基本となる市民の知的要求に広く応えとともに、市民それぞれの生活課題解決に必要な情報収集の場として、多様できめ細かなサービスを提供します。

特に、全国的な読書離れが叫ばれるなか、魅力ある蔵書のほか、IT機器の活用や次世代の読書習慣をめざす読み聞かせやブックトーク等の読書推進活動を展開し、図書の利用拡大に努めます。

また、適正な施設の維持管理及び館の運営に努め、快適な利用環境を提供します。

これらを踏まえ、平成28年度においては以下を重点施策として図書館を運営してまいります。

- 1 社会情勢の様々な変化に伴って多様化・高度化する利用者ニーズに応えるため、資料の整備・充実に努めます。
- 2 調査研究から身近な疑問に応ずるとともに、市民の生活課題解決の支援となるレファレンスサービス（参考調査）の充実に努めます。
- 3 障がいにより、読書や図書館の利用に不便を感じる人に対する読書支援活動を推進します。
- 4 子どもの読書活動推進のため、児童サービスの充実に努めます。
- 5 市域全体の読書活動を推進するため、地域開放型図書室及び中央図書館サービスコーナーにおける蔵書の充実に努めるほか、学校及び大学との連携を推進します。
- 6 図書館利用の促進及び読書活動の推進のため、各種文化事業を実施します。
- 7 快適な読書環境を提供するため、図書館施設・設備の適切な管理運営に努めます。

【平成27年度利用状況】

1 入館者数・登録者数

（単位：人）

開館日数	入館者数			登録者数			
	一般室	児童室	合計	一般	学生	児童	合計
304	470,313	84,400	554,713	138,092	26,170	14,688	178,950

2 貸出冊数

(単位：冊・点)

中央図書館					公民館・文 化センター	地域開放 型図書室	サービス コーナー	合計
一般書	児童書	雑誌	A V資料	計				
631,209	200,721	25,619	45,065	902,614	112,721	15,444	158,568	1,189,347

3 蔵書場所別・資料種別蔵書冊

(単位：冊・点)

	一般書	児童書	図書計	雑誌計	C D	カセット	ビデオ	D V D	A V計	総合計
中央図書館	386,465	82,587	469,052	14,668	9,283	176	1,253	1,687	12,399	496,119
公民館・文 化センター	18,968	21,782	40,750	168	0	0	0	0	0	40,918
サービ ス コー ナー	13,108	62,855	75,963	0	0	0	0	0	0	75,963
合 計	418,541	167,224	585,765	14,836	9,283	176	1,253	1,687	12,399	613,000

IV 人權教育

人 権 教 育

1 学校教育における人権教育

(1) 教育活動全体をととしての人権教育の取組

- ① 人権意識の高揚を図り、人権についての正しい理解を深め、同和問題を始めとする様々な人権問題を解決しようとする児童生徒の育成を図っています。
- ② 人権教育の着実な実践を図るために、児童生徒及び地域の実態を把握し、同和問題を始めとする様々な人権問題を解決するための具体的な目標を設定し、人権教育全体計画を作成し、実践しています。
- ③ 児童生徒の発達段階を踏まえ、各教科はもとより道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の年間指導計画に人権教育を位置付け、実践しています。
- ④ 豊かな人権感覚を身に付け、主体的に行動できる児童生徒を育てるため、全教職員の共通理解を図り、教育活動全体をととして一人ひとりを大切にする授業の在り方についての研究を推進しています。
- ⑤ いじめや仲間はずれのない、お互いに協力し合う明るい学級づくりに努めています。

(2) 人権を尊重する教育の徹底と啓発活動の取組

草加市人権教育推進協議会と協力し、啓発活動を推進しています。

- ① 人権教育主任研修会
- ② 人権教育授業研究会
- ③ 初任者教員人権教育研修会
- ④ 3年次教員人権教育研修会
- ⑤ 学校管理職人権教育研修会
- ⑥ 人権教育校内研修会
- ⑦ 人権を考える市民のつどい
- ⑧ 草加市人権文集『なかま』の発行
- ⑨ 草加市人権標語ポスターの作成
- ⑩ 現地研修会の開催

2 社会教育における人権教育

社会教育の各分野において、同和問題を始めとする様々な人権課題に対して、総合的かつ計画的な人権教育・啓発を推進し、市民一人ひとりが人権尊重の理念に対する理解を深め、全ての人が相互に存在を認め合い、尊重し合う平和な社会の実現を目指しています。

(1) 公民館での人権教育講座の開催

市内6か所の公民館・文化センターで人権教育講座や講演会等を行い、様々な人権問題に対して理解を深めていけるような学習プログラムを設け、市民が学習できる場を提供しています。学習方法についても、人権啓発ビデオの視聴を取り入れるなどの工夫をしています。

(2) 人権教育講演会の開催

講演会・研修会等を開催し、また、他団体・機関等と共催することで幅広く人権教育の推進を図るよう努めています。

① 人権を考える市民のつどい

② 企業内人権・同和問題研修会 ほか

(3) 吉町集会所事業

吉町集会所は、同和問題を始めとする社会人権教育を推進し、市民の会議、集会等に供するために設置されており、施設運営については、地域の関係団体・機関から選出された運営委員会を中心に行います。

① 子ども教室、女性教室、成人教室の開催

各教室において人権学習会を取り入れることにより、人権意識の高揚が図れるよう努めています。

② 吉町集会所まつりの開催

吉町集会所利用団体による成果発表、人権教育講演等を行い、人権問題に対する理解をより深めながら利用者同士の交流を図ることで、平和で住みよい社会が形成できるように努めています。

吉 町 集 会 所

開 館 年 月：昭和58年4月

所 在 地：草加市吉町三丁目9番24号

構造・面積：鉄筋造2階建 延床面積 281.51 m² 敷地面積 578.63 m²

V 資 料 編

草 加 の 教 育 の 沿 革

年度	月日	主 な こ と が ら
昭和 61	4月 1日 6月 7日 8月 10月 1日 2月20日	指導課と青少年課を統合し、指導・青少年課に改編 奥日光自然の家を開設 川柳小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 (財)草加市体育協会が設立 遊馬町個人所蔵の文明十七年弥陀一尊図像月待板碑を市指定文化財に指定
62	7月31日 8月 1日 8月25日	青少年健全育成市民会議が発足 語学指導助手を初めて採用 高砂小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱北勝海関が参加
63	8月21日 8月22日 10月15日 11月 1日 11月 5日 11月13日	新栄中学校第18回全国中学校バスケットボール大会で優勝 花栗中学校第18回全日本中学校バレーボール選手権大会で優勝 草加市民管弦楽団が発足 新草加市民憲章・草加市歌を制定 第1回奥の細道国際シンポジウムを開催 中日友好バレーボール親善試合を開催
平成 元	7月 7日 8月21日 11月24日	草加平成塾を開塾 長栄小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱旭富士関が参加 第1回国際ハープ・フェスティバルを開催
2	7月 2日 8月25日	栄平成塾を開塾 高砂小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱千代の富士関が参加
3	4月 1日 8月24日 7月18日	社会教育課を生涯学習課と改称 清門小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 新田平成塾を開塾
4	8月29日 9月～ 9月24日	西町小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱曙関が参加 学校週5日制（月1回）を実施 両新田平成塾を開塾
5	6月22日 10月18日	音楽都市を宣言 八幡北平成塾を開塾
6	8月23日 11月 7日	小山小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 新栄平成塾を開塾
7	4月～ 8月22日 11月30日	学校週5日制（月2回）を実施 稲荷小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱武蔵丸関が参加 瀬崎平成塾を開塾
8	8月24日 11月26日	草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 小山平成塾を開塾
9	8月20日 10月31日	草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 氷川平成塾を開塾
10	8月22日 11月 1日 10月28日 3月 1日 3月19日	草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 清門平成塾を開塾 札幌河岸公園内の甚左衛門堰を市指定文化財に指定 青柳平成塾を開塾 市指定文化財の甚左衛門堰が県指定文化財に指定
11	4月 1日 8月 11月 5日	特色ある学校づくり推進事業を開始 草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 長栄平成塾を開塾

年度	月日	主 な こ と が ら
12	4月 1日 8月20日 11月15日 2月26日	草加市立中央図書館が開館 草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 新里平成塾を開塾 教育相談室が氷川町から松江一丁目（現在地）に移転
13	4月 9日 8月26日	草加市立中央図書館来館者100万人を達成 記念体育館で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱武蔵丸関が参加
14	4月 1日 4月 1日 4月 1日 4月 1日 4月 1日 4月 1日 4月 1日 5月 8日 8月 7日 8月 9月 1日	指導・青少年課を、指導課及び青少年課に改編 学校週5日制が完全実施 勤労青少年ホームを教育委員会所管に改編 子ども週末活動支援モデル事業を開始 学校教育部、生涯学習部を新設。併せて、青少年課を新設 新学習指導要領が全面实施 学校評議員制度市内全小中学校で開始 八幡平成塾を開塾 安陽市と国際教育交流協議書を締結 草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 柿木公民館が新築移転、業務を開始
15	4月26日 4月 8月19日 9月 1日 9月17日	冒険松原あそび場（プレーパーク）を開設 西町小学校新校舎で授業を開始 記念体育館で夏休みちびっ子相撲大会を開催 草加市学校安全の日（学校安全週間）を制定 全小学校に中央図書館サービスコーナーを開設
16	4月 7月10日 8月 1日 8月24日 9月 1日～ 10月29日 10月 1日 10月 6日 10月24日～ 10月27日 3月 3月21日	川柳小学校新校舎で授業を開始 柳島スポーツ広場の開放を開始 埼玉県東南部地域公共施設・生涯学習講座予約システム（まんまるよくシステム）の運用を開始 谷塚中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 東地総田遺跡第二次発掘調査を実施 草加未来人サポート審議会が発足 全小中学校でアルミ缶の回収を開始 記念体育館で「まごころ国体一相撲競技」を開催 草加市生涯スポーツ振興計画を策定 冒険松原あそび場（プレーパーク）のプレーリーダーハウス完成
17	4月 6月12日 7月 8月27日 9月 9月 1日 9月 3日 9月29日 10月28日	教育に関する3つの達成目標を踏まえ「草加っ子の基礎・基本」を策定、実践開始 奥日光自然の家開設20周年式典を挙行 全校学力調査を実施 谷塚中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 公共施設及び学校給食調理業務機器等アスベスト調査を実施、撤去等安全対策に着手 全校校地内全面禁煙を実施 そうか市民大学を開校 草加一丁目北草加観音堂境内の正保二年草賀町銘板碑型線刻虚空蔵菩薩立像供養塔を市指定文化財に指定 草加中学校の体育館・給食棟が竣工

年度	月日	主 な こ と が ら
17	1 1 月	不審者による児童生徒被害の多発を踏まえ、安全安心の学校づくりに着手
	1 1 月 1 3 日	綾瀬川出土の丸木舟の保存処理が完了し、歴史民俗資料館で展示を再開
	1 2 月 1 日	獨協大学との連携により、同大学附属図書館の市民開放を開始
18	4 月	中学校学校選択制を導入
	4 月	学校給食調理業務委託を中学校2校において実施
	4 月	小学校22校区内にスクール・パトロールステーションを設置
	4 月	草加中学校体育館の一般開放を開始
	7 月～	算数・数学学力向上プロジェクト「寺子屋事業」の開設
	7 月 2 6 日	綾瀬川出土の丸木舟を市指定文化財に指定
	8 月～	草加宿開宿着手400年記念事業の実施（夏期巡回ラジオ体操、なんでも鑑定団in草加、絵画展、俳句展等）
	8 月 2 7 日	川柳小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催
19	1 月 2 2 日	いじめ相談「草加っ子元気カード」を小中学校生に配付
	3 月 1 5 日	谷塚小学校・谷塚文化センター完成竣工式を挙行
	4 月 1 日	草加市教育相談室を草加市教育支援室に改称
	4 月 9 日	谷塚小学校新校舎で授業を開始・谷塚文化センター新庁舎で業務を開始
	4 月 2 4 日	全国学力学習状況調査を実施
	4 月	学校給食調理業務委託を新たに中学校2校で実施
	4 月	AED（自動体外式除細動器）を全小中学校の保健室に設置
	4 月	市内6小学校区で放課後子ども教室を開設
	8 月	奥日光自然の家の施設周辺に、野生動物対策のため電気柵を設置
	8 月 2 8 日	谷塚中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催
	9 月	草加市立北谷小学校・花栗小学校の統合に向けた統合協議会を設置
20	1 0 月 1 日	青少年の居場所として青少年交流センターを開設
	3 月	財務に関する事務の適正な執行のため、業務改善検討委員会の設置
	4 月 1 日	学校教育部と生涯学習部を統合し、教育総務部を新設。併せて、学校教育課、学校施設・給食課を新設、体育課を市長部局に移管
	4 月 1 日	業務改善検討委員会の意向を受け、教育委員会内部統制チームを新設
	6 月	小中学校の耐震化計画を見直し、平成25年度100%実施に向けた計画を策定
	8 月 2 0 日	市制50周年記念事業「子ども議会」を開催
	9 月	「草加っ子土曜寺子屋」の新設
	1 0 月 2 3 日	歴史民俗資料館が草加市初の国の登録有形文化財に登録
21	1 2 月	教育委員会事務及び評価報告書を市議会12月定例会に提出
	3 月	松原小学校の開校に伴い、北谷小学校及び花栗小学校が閉校
	3 月	教育委員会発足50周年記念誌「草加の教育 50年の歩み」を発行
	4 月	松原小学校が旧花栗小学校で開校
	4 月	高砂小学校新校舎で授業を開始
	4 月 1 6 日	市内小中学校の耐震診断結果を公表
	7 月	新型インフルエンザが猛威を振るい、7月下旬から3月上旬までに小学生5,490人、中学生1,959人が罹患
	7 月	瀬崎冒険あそび場（プレーパーク）を開設
21	8 月	新田小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催
	9 月 6 日	高砂小学校で地域開放型図書館を開設

年度	月日	主 な こ と が ら
2 1	1 0 月 1 1 月 1 2 日 3 月 3 月 3 1 日	高砂小学校が、草加市と都市山村交流（平成 2 2 年 7 月に姉妹都市締結）の福島県昭和村への修学旅行を実施。以来、平成 2 2、2 4、2 5、2 6 年度にも実施 新型インフルエンザの影響で、小中学校なわとび大会及び学校対抗相撲大会が中止 国の経済危機対策等の補助金を活用して、小学校に校務用及び教育用コンピュータを整備 新田西文化センターの完成に伴い、新田西公民館が閉館
2 2	4 月 1 日 8 月 2 8 日 1 1 月 1 1 月 1 1 日 3 月 3 月 1 1 日	新田西文化センターが開館 高砂小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱白鵬関が参加 草加市文化財保護基本計画を策定 草加市立中央図書館開館 1 0 周年記念として、「中央図書館文化講演会」を開催 松原小学校新校舎が完成 午後 2 時 4 6 分、東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）発生 児童・生徒の一斉下校対応・引き取り対応を実施 各小中学校、公民館・文化センターに避難所を開設 食材供給が十分でない中、市内小学校においては、震災後も給食調理業務を継続して実施
2 3	4 月 8 日 6 月 8 日 8 月 2 8 日 9 月 1 1 月～ 1 2 月 2 6 日 2 月 3 月	松原小学校新校舎で授業を開始 学校における放射線量等の測定を開始 松原小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 旧松原小学校（旧花栗小学校）において、県東部地域特別支援学校（仮称）設置工事に着手 子ども達が日常的に過ごす施設や場所を優先的に放射線量の詳細測定と除染を実施 住吉二丁目所在の明治天皇草加行在所記念碑を市指定文化財に指定 草加市立中央図書館開館 1 0 周年記念誌を発行 草加市教育振興基本計画を策定
2 4	4 月 1 日 4 月 1 日 6 月 1 日 8 月 8 月 20・21 日 8 月 2 5 日 9 月 3 月	学校教育課及び学校施設・給食課を、学務課、指導課及び施設課に改編、子ども教育連携推進室を新設 学校適応指導教室「ふれあい教室分室」を川柳文化センター・谷塚文化センター内に開設（平成 2 5 年 3 月 3 1 日閉室） 草加市立中央図書館で雑誌広告事業を開始 「いじめ防止」のためのリーフレットを作成 栄中学校全国中学校体育大会の体操競技団体で 3 位入賞 高砂小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱白鵬関が参加、主催の草加市青少年相撲振興会創立 3 0 周年を記念し、土俵入りを披露 栄小学校校舎改築工事に着手 草加市子ども教育連携推進基本方針・行動計画を策定
2 5	4 月 1 日 6 月～ 6 月 2 1 日 8 月 2 8 日 8 月 3 0 日	埼玉県立草加かがやき特別支援学校開校 草加寺子屋（土曜学習）を市内公共施設 4 会場に加え、市内小学校全校で開催 藤城家住宅店舗・内蔵・外蔵が国の登録有形文化財に登録 「いじめ撲滅サミット」を開催 谷塚小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催

年度	月日	主 な こ と が ら
25	11月1日 12月 1月24日 2月 3月 3月18日 3月31日	草加市立中央図書館に「ドナルド・キーンコーナー」を開設 栄小学校新校舎が完成 瀬崎の富士行及び富士塚を市指定文化財に指定 「目指す『草加っ子』(草加市幼保小中教育モデル指針)」「草加市幼保小接続期モデルプログラム」「草加市小中連携モデルプログラム」を策定 「草加市学校におけるいじめの防止等のための基本的な方針」策定 草加松原が「おくのほそ道の風景地」の一群をなすものとして、国指定名勝に指定 新里文化センターの完成に伴い、谷塚西公民館が閉館
26	4月1日 4月8日 5月24日 7月～ 7月 8月30日 2月 3月7日	新里文化センターが開館 栄小学校新校舎で授業を開始 草加市文化会館で名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」指定記念式典を開催 市内小中学校の普通教室及び音楽室へのエアコン設置が完了し、稼働開始 青柳小学校・小山小学校が、試行として姉妹都市の福島県昭和村への自然教室を実施 小山小学校で夏休みちびっ子相撲を開催 「目指す『草加っ子』(草加市幼保小中教育指針)」「草加市幼保小接続期プログラム」「草加市小中連携プログラム」を策定 草加松原遊歩道内にドナルド・キーン氏揮毫による国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」の標識(記念碑)を建立。同日、除幕式典を開催
27	4月1日 7月 8月30日 11月22日 2月 2月	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、新教育委員会制度へ移行 青柳小学校・小山小学校・八幡小学校が、試行として姉妹都市の福島県昭和村への自然教室を実施 川柳小学校で夏休み草加っ子相撲を開催 移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律に基づき、「いのちの絆をつなぐ教育」として豊かな心推進事業講演会を開催 第二次草加市教育振興基本計画『笑顔かがやく草加教育プラン』を策定 第二次草加市子ども教育連携推進基本方針・行動計画、草加っ子にこここわくわくプラン(草加市乳幼児期保育・教育課程)、草加市小中学校教育課程指導資料(算数・数学)を策定

草加市の指定文化財

(平成 28 年 4 月 1 日現在)

指定	名 称	員数	概 要	所 在 地	指定年月日
市	富士浅間神社本殿 (建造物)	1 棟	間口 2.32m、奥行 3.60m の一間社流造(いつけんしやながれづくり)。随所に豊富な彫刻を配した天保年間の建物で、宮彫(みやぼり)彫刻の技法が優れている。	瀬崎 3-3-24 富士浅間神社	昭和 51 年 11 月 15 日
市	六角宝幢形経筒 (工芸品)	1 口	筒身及びその台。筒身は 6 枚の長方形の銅板(縦約 9.5 cm、幅約 2.5 cm)に分かれている。六角宝幢(ほうどう)形は全国的にも珍しく、学術上貴重なものである。	柿木町地内	昭和 51 年 11 月 15 日
市	東漸院山門 (建造物)	1 棟	本堂の表門で型式は四脚門。規模は表柱間 3.16m、妻 3.58m。この山門は江戸中期以降の建物であるが、彫刻に迫力があり、また、よくまとまった四脚門の好例である。	柿木町 1286 東漸院	昭和 52 年 8 月 8 日
市	宝積寺木造千体地藏 (彫刻)	1,000 体	勝軍地藏、両脇侍地藏、小地藏。江戸後期の造立と思われるが今日まで、完備した姿で伝えられているのは珍しく、貴重な存在である。	金明町 169-1 宝積寺	昭和 52 年 8 月 8 日
市	泉蔵院十三仏石像 (歴史資料)	13 体	十三仏像が個々の形体で、それぞれ独立の立像として彫刻、配列されているのは他に類がなく、貴重である。享保 6 年(1721)造立の銘あり。	新里町 313 泉蔵院	昭和 52 年 8 月 8 日
市	泉蔵院六地藏石仏 (歴史資料)	6 体	六道別各尊名を刻した六地藏石仏とその供養塔。元禄 4 年(1691)の造立。六地藏としての体系を具えたもので、創立当初からの姿態をよく保存している。	新里町 313 泉蔵院	昭和 52 年 8 月 8 日
市	関根家所蔵歴史資料 (歴史資料)	40 点	近世及び明治初年の篠葉村関係の文書。検地帳、村絵図、持高帳、その他。保存がよく、草加周辺の雰囲気をよく伝えている。また、草加宿の資料が明治の大火で大半を失っている中で、重要な史実が見出せる可能性のある資料群である。	弁天 5 丁目地内	昭和 52 年 8 月 8 日
市	野島家所蔵歴史資料 (歴史資料)	77 点	草加宿村の近世史を解明する上で大変重要であり、市史研究にとって基礎的な資料群である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 54 年 2 月 20 日
市	旭神社算額 (歴史資料)	1 面	この算額は、県下でも古い方であり市唯一の算額である。奉納者の系統も明らかであり(宮城流)、珍しい貴重な文化遺産であるが、近年文字の退色が進行し、読み取ることが困難となっている。現在は、算額のレプリカが歴史民俗資料館にて展示されている。	金明町 1333 旭神社	昭和 54 年 2 月 20 日
市	東福寺鐘楼 (建造物)	1 棟	江戸末期の、よくまとまった寺院建築物である。	神明 1-3-43 東福寺	昭和 55 年 3 月 22 日
市	十三仏板碑 (歴史資料)	1 基	板碑(いたび)は中世の地域社会を理解する上で、かけがえのない資料である。十三仏は市内唯一のものである。	神明 1-3-43 東福寺	昭和 55 年 3 月 22 日
市	長堀家所蔵歴史資料 (歴史資料)	48 点	江戸時代の旧新里村における旧体制から近代化への夜明けと苦悩が浮彫りにされる、重要な資料群である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 55 年 3 月 22 日

<お知らせとお願い>

- ・掲載している文化財には、非公開のものもあります。必ず所有者の許可を得てから見学するようにしてください。
- ・文化財を火災から守るため、文化財周辺での喫煙はご遠慮ください。
- ・文化財を傷つけたり、周囲を汚したりしないでください。
- ・一部の指定文化財は事情により掲載していません。

指定	名 称	員数	概 要	所 在 地	指定年月日
市	題目板碑 (歴史資料)	1 基	碑の中央に「南無妙法蓮華經」の題目が彫られており、右に北朝年号の至徳 3 年(1386)の年号が彫ってある。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 55 年 3 月 22 日
市	寛永十三年山王二十一仏庚申塔 (歴史資料)	1 基	板碑型で寛永 13 年(1636)丙子(ひのえね)の紀年銘を持つ。草加市域はもとより隣接市区で、最も古い貴重な中世資料である。	稲荷 4-3-23 慈尊院	昭和 56 年 1 月 31 日
市	寛文二年地藏(庚申)立像 (歴史資料)	1 基	高さ 95cm の丸彫り型であり、寛文 2 年(1662)と、市域では最も古い、貴重な近世資料といえる。	弁天 6-7-24 観正院	昭和 56 年 1 月 31 日
市	延宝六年地藏(庚申)立像 (歴史資料)	1 基	高さ 142cm の光背型立像である。延宝 6 年(1678)と、市域で 2 番目に古く像容が優れている点が注目に値する。	弁天 6-7-24 観正院	昭和 56 年 1 月 31 日
市	万治二年板碑型六地藏 (歴史資料)	1 基	万治 2 年(1659)の造立は市域で最も古く、板碑型の碑面に六体を収めた例は他にはない。	柿木町 1286 東漸院	昭和 56 年 1 月 31 日
市	万治二年板碑型地藏立像 (歴史資料)	1 基	万治 2 年(1659)と、市域では最も早く造立され、その後の地藏像が丸彫りか光背型であるのに対して、他に例のない板碑型である。	柿木町 565 正福寺跡	昭和 56 年 1 月 31 日
市	八幡神社獅子頭 (工芸品)	雌雄一対	高さ 83cm の大型の獅子頭で、江戸末期の平面的な技法によって構成されているため、その時期に作成されたものと思われる。	高砂 2-20 八幡神社	昭和 56 年 1 月 31 日
市	東福寺本堂内外陣境彫刻欄間 (彫刻)	1 面	この欄間は職人芸で、経費・期間に制約がある中で、また、文献を参考に描くということの不可能な時代の所産にもかかわらず、技法がこまやかであり、構図・刀痕ともに、この地方の逸品である。	神明 1-3-43 東福寺	昭和 57 年 2 月 22 日
市	東福寺山門 (建造物)	1 棟	この山門は、江戸時代木割(きわり)書によって造営され、細部は工匠の熟練した技術によって処理されている。また冠木(かぶき)上の彫刻も見事であり、彫工の非凡な刀痕がみられる。	神明 1-3-43 東福寺	昭和 57 年 2 月 22 日
市	吉岡家所蔵歴史資料 (歴史資料)	1,540 点	幕末から明治にかけての金融関係の動向や明治中後期の東京との交換売買のありさま等、郷土史研究にとって貴重な資料群である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 57 年 2 月 22 日
市	新井家所蔵歴史資料 (歴史資料)	一括	この資料は草加市史上の重要人物の一人である新井孫助(あらいまごすけ)に関する貴重な資料だけでなく、近世と近代の草加の豪農、豪商層の成り立ちと在り方、当時の村落状況を伝える貴重な資料群である。	花栗 3 丁目地内	昭和 58 年 2 月 22 日
市	藤波家所蔵歴史資料 (歴史資料)	一括	資料は大きく分けて①草加せんべい、②豪農の家訓、③明治 10 年～20 年代の「草加人」の憲法学習、④日記に見る大正期の青少年の青春像の 4 編からなっており、その文献類はいずれも草加市の歴史を知る上で貴重な資料群である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 58 年 2 月 22 日
市	草加神社本殿 (建造物)	1 棟	間口 2.27m、奥行 1.91m、向拝(こうはい)の出 1.73m の一間社流造で、天保年間の造営。豊富な彫刻も立川流の絵様を採用している建物である。	氷川町 2118-4 草加神社	昭和 58 年 2 月 22 日
市	日枝神社本殿 (建造物)	1 棟	間口 1.51m、奥行 1.34m、向拝の出 1.15m からなる一間社流造で、彫刻充填式の建物である。	吉町 3-9-24 日枝神社	昭和 58 年 2 月 22 日

指定	名 称	員数	概 要	所 在 地	指定年月日
市	手代町面芝居資料 (有形民俗文化財)	シャグマ 8点、 面14点、 衣装22点	神楽舞だけでなく、面芝居（めんしばい）を演ずるのがこの地方の神楽の特色であったが、面芝居が上演されなくなって久しい。完全な形で保存されており、民俗芸能を知る上で貴重な資料である。	住吉1-11-29 歴史民俗資料館	昭和59年3月14日
市	弘安六年弥陀一尊板碑 (歴史資料)	1基	弘安6年(1283)は市域で最も古い板碑であり、中世の地域社会を理解する上で、かけがえのない資料である。	住吉1-11-29 歴史民俗資料館	昭和59年3月14日
市	享禄五年弥陀一尊図 像庚申待板碑 (歴史資料)	1基	庚申待板碑（こうしんまちいたび）は市域でこの1点が確認されただけであり、造立も享禄5年(1532)と古く、中世の地域社会を理解する上で、貴重な資料である。	柿木町地内	昭和60年3月28日
市	文明十七年弥陀一尊 図像月待板碑 (歴史資料)	1基	月待板碑（つきまちいたび）は、一般に例が少なく、市内においては現在この1点が発見されただけで、造立年代も文明17年(1485)11月23日と、市内の月待関係石刻資料としては最も古く、中世の地域社会を理解する上で、貴重な資料である。	遊馬町地内	昭和61年2月20日
県	甚左衛門堰 (建造物)	1基	明治27年(1894)から昭和58年(1983)までの約90年間使用された、二連アーチ型の煉瓦造水門。煉瓦は古いタイプの横黒煉瓦（鼻黒・両面焼煉瓦ともいう。）を使用しており、建設年代から見てもこの種の煉瓦を使った最後期を代表する遺構である。また、煉瓦でできた美しい水門は、周囲の景観にとけ込み、デザイン的にも優れたものであり、建設当初の姿を保ち、保存状態が極めて良く、農業土木技術史・窯業技術史上でも貴重な建造物である。	神明2-145-1ほか 札幌河岸公園	市指定 平成10年10月28日 県指定 平成11年3月19日
市	正保二年草賀町銘板 碑型線刻虚空蔵菩薩 立像供養塔 (歴史資料)	1基	この供養石塔は「草賀町」の文字がある石物資料としては、現在知られている中で最も古いものとして注目される。また、草加市域では数少ない「虚空蔵菩薩立像」の線刻尊像である。	草加2-13 北草加観音堂	平成17年9月29日
市	綾瀬川（旧新田村） 出土丸木舟 (歴史資料)	1基	昭和4年(1929)、綾瀬川のしゅんせつ工事中に見された。約5300年前・縄文時代前期のものと推定される。帯状の削り残しによる横梁を有し、今後、丸木舟の構造を解明する上で重要な資料である。	住吉1-11-29 歴史民俗資料館	平成18年7月26日
国	草加市立歴史民俗資料館（旧草加小学校西校舎） (国登録有形文化財＜建造物＞)	1棟	大正15年(1926)に建設された、埼玉県では初の鉄筋コンクリート(RC)造校舎である。昭和54年度(1979)まで草加小学校の校舎として利用され、その後昭和58年(1983)に歴史民俗資料館として開館した。造形の模範になっている建造物であることなどが評価され、平成20年(2008)10月23日付けで、市では初、県では123件目の「登録有形文化財」となった。	住吉1-11-29 歴史民俗資料館	国登録 平成20年10月23日
市	明治天皇草加行在所記念碑 (歴史資料)	1基	「中大川」と呼ばれた大川弥惣右衛門家は、明治9年(1876)の奥羽巡幸及び明治14年(1881)の東北・北海道巡幸の際に明治天皇の行在所として指定された。昭和8年(1933)には史蹟名勝天然紀念物保存法に基づく史蹟に指定され、翌9年(1934)、これを記念し草加町が明治天皇草加行在所記念碑を建立した。行在所は平成4年(1992)に解体され、現在では記念碑が行在所の所在地及び中大川家の由緒を伝える貴重な資料となっている。	住吉2丁目地内	平成23年12月26日

指定	名 称	員数	概 要	所 在 地	指定年月日
国	藤城家住宅店舗・内蔵・外蔵 (国登録有形文化財<建造物>)	各 1 棟	藤城家住宅は、日光街道の宿場・旧草加宿のほぼ中央に位置する。街道に面して建つ「店舗」は高さがあり、屋根の軒先は出桁造、開口部は立格子で装飾された風格ある趣の昭和初期の商家である。 「店舗」の後方には、母屋に組み込まれた重厚な土蔵造りの「内蔵」と、明治初期の建造と伝える「外蔵」が建ち、奥行きの深い、草加宿の典型的な町屋景観を残している。 国土の歴史的景観に寄与していることが評価され、平成 25 年(2013)6 月 21 日付けで、「登録有形文化財」となった。	高砂 2-48-1	国登録 平成 25 年 6 月 21 日
市	瀬崎の富士行及び富士塚 (民俗文化財)	—	富士山信仰を基盤とするもので、一般的には「富士講」と呼ばれているが、19 世紀中頃からの伝承を伝える瀬崎では「富士に行く行為」が最重要要素であるとの認識のもと、あえて「富士行」と表記することになったものと伝えられている。 また、富士山信仰において、誰でも富士参拝ができるよう築かれた人工の山や塚を富士塚と呼ぶ。瀬崎の富士塚は大正 5 年(1916)8 月に築造されており、現在も信仰の対象となっている。	草加瀬崎 3-3-24	平成 26 年 1 月 24 日
国	おくのほそ道の風景地 草加松原 (名勝)	—	草加松原は、綾瀬川沿いにある約 1.5 km の松並木であり、旧草加宿の北側に位置する。江戸時代から日光街道の名所として知られてきた。 寛永 7 年(1630)の草加宿開宿時、もしくは天和 3 年(1683)の綾瀬川改修時に松が植えられたとの伝承が残されている。 松尾芭蕉の『おくのほそ道』に関連する名勝地が、後世の人々の風致景観に影響を与え、今なお往時の雰囲気伝える一連の風致景観として評価され、一群として名勝に指定されたものである。	栄町 1 丁目ほか	国指定 平成 26 年 3 月 18 日

教育委員会関係附属機関委員

(平成28年7月1日現在 順不同、敬称略)

草加市奨学資金貸付審査会委員（4人）

並木 正成 水澤 郁夫 若林 秀次 帛溪 文有

草加市立小中学校通学区域審議会委員（15人）

福田 誠一 小岩井 英子 盛武 加奈 田中 恭子 元島 孝幸
市川 雅保 浅井 壽雄 白石 隆夫 菅野 光三 野村 真一
船戸 姿子 磯谷 正雄 生明 茂 河上 良治 菅生 日出子

草加市立小中学校の学校医等公務災害補償認定委員会（3人）

山田 恒久 松本 眞彦 宮尾 努

草加市いじめ問題対策連絡協議会（16人）

山田 真理子 鈴木 浩太郎 唐澤 晃 田口 裕美子 鈴木 雅彦
橋本 政幸 高橋 昌夫 川上 登 帛溪 文有 小林 和広
加納 友幸 小島 拓郎 斉藤 和見 杉浦 めぐみ 三浦 伸治
山根 明

草加市いじめ問題調査対策委員会（4人）

野村 武司 豊泉 清浩 山越 悟 岡村 理恵

草加市障害児就学支援委員会委員（15人）

竹内 康二 浜田 正子 松永 久美 鎌田 久枝 石川 智子
小林 寛子 長谷川 毅 壽福 亜耶 益岡 和正 本間 錦一
加藤 吉宏 柴崎 ひとみ 東 あやの 柳田 優子 三宅 英俊

草加市社会教育委員（14人）

谷脇 純子 中村 俊臣 木田 一彦 鈴木 芳和 木村 孝三郎
本多 恵子 根守 晶 榎本 明子 福田 求 青山 鉄兵
飯島 和久 石井 武 細川 美佐子 嶋根 繁

草加市文化財保護審議会（6人）

石岡 憲雄	堀内 仁之	高橋 操	岡本 一雄	譲原 純子
高梨 真行				

草加市公民館運営審議会委員（13人）

百瀬 皓	山本 多美子	渡辺 美津江	瀬尾 寛	福田 常一
塩脇 洋	金井 日出雄	三橋 清	森口 和總	木村 功
峰崎 隆司	後藤 一彦	羽田 洋一		

草加市立図書館協議会委員（11人）

水澤 節子	川原田 一郎	中島 清治	堀 美紀子	松岡 尊子
犬塚 寿子	鉢山 京子	高野 日出代	三澤 江津子	橋本 奈津子
安保 昇				

学校教育関係等一覧

○小学校

No.	学 校 名	所 在 地	電話番号	校 長 名	教 頭 名
1	草加小学校	住吉一丁目11番64号	927-3568・3569	上 野 和 敏	岩 渕 健 志
2	高砂小学校	中央一丁目2番5号	924-3425・3426	後 藤 裕 史	山 村 一 晃
3	新田小学校	旭町六丁目12番11号	941-3087・3172	森 田 恵 子	土 屋 貴 一
4	谷塚小学校	谷塚仲町440番地	925-2422・7105	小 櫃 真 人	鈴 木 輝 子
5	栄小学校	松原一丁目3番2号	941-2164・2124	峰 崎 隆 司	長 野 典 子
6	川柳小学校	青柳七丁目27番10号	931-5025・5024	菅 野 光 三	奥 村 勇
7	瀬崎小学校	瀬崎二丁目32番1号	924-9656・9657	浅 賀 利 一	林 奈緒美
8	西町小学校	西町270番地	924-7245・7246	森 田 郷 子	早 津 次 仁
9	新里小学校	新里町759番地	924-7248・7249	河 野 健	寺 本 博 美
10	花栗南小学校	花栗四丁目3番1号	941-2854・2835	佐々木 毅	平 野 晴 彦
11	八幡小学校	八幡町65番地	936-6293・6294	興 水 功	長谷川 晃
12	新栄小学校	新栄四丁目959番地	941-2189・2188	三 好 正 浩	岡 田 安 弘
13	清門小学校	清門三丁目37番地1	941-6755・6756	石 崎 明 子	野 原 修 雄 大 澤 英 雄
14	稲荷小学校	稲荷五丁目11番1号	936-5855・5856	柳 武 尚 広	永 沼 次 郎
15	氷川小学校	氷川町448番地	928-6771・6772	小 松 薫 樹	皆 川 賢 司
16	八幡北小学校	八幡町1148番地	936-0773・0774	村 山 岳 視	菊 地 直 樹
17	長栄小学校	長栄一丁目762番地	942-9874・9875	水 澤 節 子	村 田 隆 一
18	青柳小学校	青柳三丁目17番1号	931-0899・0894	益 岡 和 正	田 代 義 明
19	小山小学校	小山二丁目8番1号	941-1701・1702	鈴 木 雅 彦	渡 部 涼 子
20	両新田小学校	両新田西町55番地	927-8411・8412	中 村 俊 臣	加 藤 治
21	松原小学校	松原四丁目2番1号	941-3214・3996	中 河 正 明	小 林 和 美

○中学校

No.	学 校 名	所 在 地	電話番号	校 長 名	教 頭 名
1	草加中学校	氷川町2179番地4	925-5201・5202	並 木 正 成	小 林 和 広
2	栄中学校	松原三丁目3番1号	941-2587・2589	橋 本 政 幸	遠 藤 淳 一
3	谷塚中学校	谷塚上町62番地	925-2421・3456	野 口 繁	中 谷 浩 一
4	川柳中学校	青柳七丁目35番1号	931-5827・5828	本 間 錦 一	分 須 清 博
5	新栄中学校	新栄一丁目33番地	941-5034・5035	川原田 一 郎	河 本 静 夫
6	瀬崎中学校	瀬崎五丁目3番1号	927-6297・6298	川 崎 淳一郎	高 安 健 次
7	花栗中学校	花栗四丁目15番12号	941-5833・5835	野 村 真 一	阪 田 晴 紀
8	両新田中学校	両新田西町368番地1	924-5051・5052	水 澤 郁 夫	高 橋 整
9	新田中学校	長栄一丁目767番地	942-9872・9873	笠 井 誠 司	鈴 木 恒 次
10	青柳中学校	青柳八丁目58番10号	936-4001・4002	及 川 祐 一	佐久間 郁 男
11	松江中学校	松江三丁目14番33号	936-9903・9904	森 真 一	小 林 一 男

○高等学校・大学等

No.	学 校 名	所 在 地	電 話 番 号	校長・学長
1	埼玉県立草加高校	青柳五丁目3番1号	935-4521	木 田 一 彦
2	埼玉県立草加南高校	柳島町6番地	927-7671	松 村 和 則
3	埼玉県立草加東高校	柿木町1110番地1号	936-3570	坂 井 修 義
4	埼玉県立草加西高校	原町二丁目7番1号	942-6141	石 塚 忍
5	埼玉県立草加かがやき特別支援学校	松原四丁目6番1号	946-2131	小 池 真 也
6	獨協大学	学園町1番1号	946-1641	犬 井 正

○私立幼稚園・認定こども園

No.	幼 稚 園 名	所 在 地	電 話 番 号	園 長
1	谷塚幼稚園	瀬崎二丁目37番3号	928-0410	小 倉 恵 照
2	ルミ幼稚園	住吉一丁目6番22号	928-0016	小 野 真 理
3	認定こども園 あずま幼稚園	遊馬町430番地	925-1741	丹 羽 義 昭
4	いなり幼稚園	稲荷四丁目14番20号	931-4949	鈴 木 禮 子
5	かおり Karuna 認定こども園	氷川町1080番地1	928-4489	厩 溪 文 有
6	草加みどり幼稚園	栄町三丁目3番12号	936-0815	吉 田 栄 子
7	青徳幼稚園	青柳七丁目19番26号	936-5560	垢 田 やよい
8	ひかり幼稚園	松原二丁目1番1号	942-1015	谷 脇 純 子
9	草加ひまわり幼稚園	松原三丁目1番1号	941-2215	中 本 順 子
10	草加藤幼稚園	松原四丁目4番2号	942-1626	山 本 恭 子
11	新田幼稚園	金明町650番地	942-5516	柴 多美世
12	谷塚おざわ幼稚園	谷塚町1328番地1	927-2828	小 澤 尚 久
13	草加氷川幼稚園	氷川町675番地	925-3006	平 野 徳 枝
14	みのべ幼稚園	北谷二丁目31番1号	941-8252	美濃部 やよい
15	草加ひので幼稚園	中根二丁目12番35号	931-1880	堀 江 鈍 也
16	清門幼稚園	清門三丁目12番1号	942-5880	高 橋 富士江
17	フラワー幼稚園	西町1005番地1	925-4121	大 野 良 行

児童・生徒数等の推移

(各年度5月1日現在 単位：人・校)

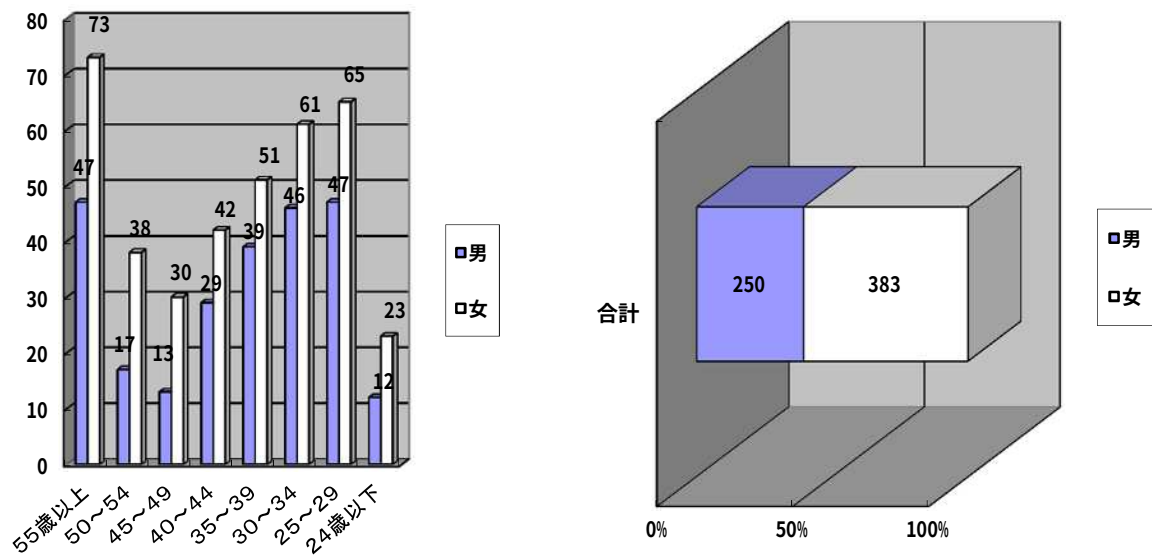
年度		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
児童・生徒数	小学校	12,115	12,030	12,128	12,279	12,509	12,767	13,099	13,412	13,677	13,936
	中学校	6,003	5,884	5,753	5,633	5,523	5,367	5,360	5,338	5,567	5,651
学校数	小学校	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
	中学校	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
年度		19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
児童・生徒数	小学校	13,925	14,118	14,148	14,137	13,940	13,617	13,410	13,160	13,105	12,829
	中学校	5,894	5,881	6,081	6,140	6,410	6,549	6,555	6,547	6,425	6,380
学校数	小学校	22	22	22	21	21	21	21	21	21	21
	中学校	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11

教職員の年齢構成・男女比

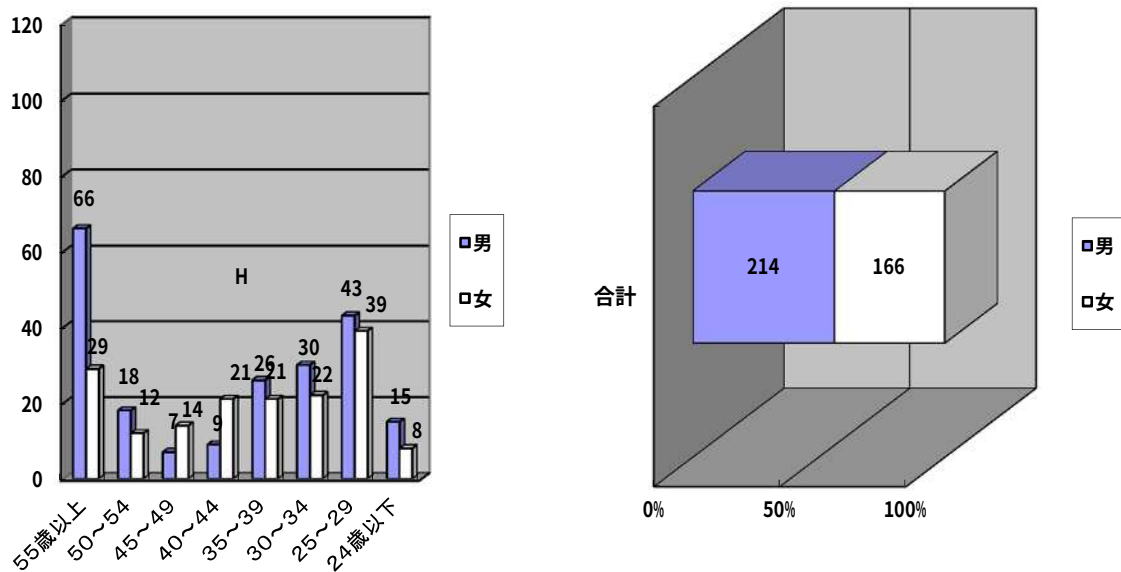
(平成28年5月1日現在、県費負担教職員)

(年齢は平成29年3月31日現在)

小学校(633人)



中学校(380人)



学 校 概 要

平成28年度草加市小中学校学年別児童・生徒数・学級数等一覽表

(平成28年5月1日現在)

	学校数	児童・生徒数			学 級 数			県 費 教 職 員 数		
		児童	生徒数	通常学級	特別支援学級	計	男	女	計	
小 学 校	21	12,829		391	36	427	383	250	633	
中 学 校	11	6,380		175	22	197	166	214	380	
計	32	19,209		566	58	624	549	464	1,013	

(小学校)

No.	学校名	創立記念日	開校記念日	1年		2年		3年		4年		5年		6年		特別支援学級				計		県 費 教 職 員 数						
				児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	児童 生徒数	学級数	校長	教頭	主幹 教諭	教諭	養護 教諭	栄養 教諭	事務 職員	学校栄 養職員	計
1	草 加	明5. 5. 15	5月15日	115	4	111	4	128	4	112	3	125	4	134	4	8	2	733	25	1	1	1	29	1		1	1	35
2	高 砂	昭29. 4. 1	9月18日	143	5	161	5	136	4	181	5	153	4	158	4	10	2	942	29	1	1	1	36	2		2	1	44
3	新 田	明6. 4. 26	4月26日	70	2	60	2	74	2	82	3	87	3	87	3	16	2	476	17	1	1	1	20	1		1	25	
4	谷 塚	明6. 1. 25	1月25日	114	4	128	4	126	4	149	4	162	5	126	4	6	2	811	27	1	1	1	31	1	1	2	38	
5	柴 沼	昭38. 4. 1	5月2日	100	3	105	3	116	3	115	3	100	3	102	3	11	2	649	20	1	1	1	25	1		1	31	
6	川 柳	明6. 1. 15	4月12日	104	3	105	3	136	4	108	3	112	3	133	4	8	2	706	22	1	1	1	25	1		1	31	
7	瀬 崎	昭42. 4. 1	5月4日	86	3	118	4	123	4	104	3	99	3	119	3	7	2	656	22	1	1	1	25	1	1	1	31	
8	西 町	昭42. 4. 1	1月23日	113	4	103	3	122	4	109	3	120	3	141	4	10	2	718	23	1	1	1	26	1	1	1	32	
9	新 里	昭45. 4. 1	2月10日	121	4	114	4	123	4	115	3	114	3	110	3	9	2	706	23	1	1	1	26	1		1	32	
10	花 栗	南昭47. 4. 1	5月10日	69	2	78	3	68	2	59	2	72	2	59	2	7	2	412	15	1	1	1	18	1		1	23	
11	八 幡	昭48. 4. 1	9月29日	124	4	151	5	141	4	126	4	126	4	124	4	13	2	805	27	1	1	1	34	1		1	40	
12	新 栄	昭49. 4. 1	11月22日	85	3	65	2	79	2	95	3	69	2	81	3	2	1	476	16	1	1	20	1		1	24		
13	清 門	昭51. 4. 1	9月14日	176	6	174	5	153	4	182	5	177	5	161	5	7	2	1,030	32	1	2		38	2	1	2	46	
14	稲 荷	昭52. 4. 1	5月4日	79	3	79	3	86	3	95	3	78	2	104	3	4	1	525	18	1	1	1	23	1		1	29	
15	氷 川	昭52. 4. 1	9月16日	104	3	107	4	80	2	90	3	87	3	91	3	2	1	561	19	1	1	26	1		1	31		
16	八 幡	北昭54. 4. 1	5月4日	85	3	78	3	80	2	74	2	70	2	93	3	6	1	486	16	1	1	20	1		1	25		
17	長 栄	昭55. 4. 1	7月1日	68	2	86	3	83	3	73	2	74	2	71	2	4	1	459	15	1	1	17	1	1	1	23		
18	青 柳	昭57. 4. 1	5月4日	67	2	59	2	63	2	61	2	76	2	64	2	11	2	401	14	1	1	17	1		1	21		
19	小 山	昭57. 4. 1	10月14日	75	3	72	3	70	2	81	3	71	2	81	3	3	1	453	17	1	1	21	1		1	25		
20	両 新	田昭57. 4. 1	5月4日	72	3	67	2	68	2	54	2	99	3	67	2	11	2	438	16	1	1	19	1		1	24		
21	松 原	平21. 4. 1	5月23日	54	2	59	2	65	2	61	2	70	2	66	2	11	2	386	14	1	1	19	1		1	23		
計				2,024	68	2,080	69	2,120	63	2,126	63	2,141	62	2,172	66	166	36	12,829	427	21	22	15	515	23	5	24	8	633

(中学校)

1	草 加	昭22. 4. 1	4月23日	252	7	264	7	258	7								19	4	793	25	1	1		42	1		2	1	48
2	栄	昭22. 4. 1	11月2日	175	5	181	5	190	5								6	2	552	17	1	1	1	27	1		1		32
3	谷 塚	昭22. 4. 1	5月3日	228	6	217	6	253	7								12	2	710	21	1	1		36	1		2	1	42
4	川 柳	昭22. 4. 1	5月1日	171	5	171	5	140	4								7	2	489	16	1	1		27	1	1	1		32
5	新 栄	昭49. 4. 1	5月4日	213	6	186	5	197	5								8	2	604	18	1	1		30	1	1	1		35
6	瀬 崎	昭51. 4. 1	5月4日	239	7	236	6	251	7								6	2	732	22	1	1		36	1		2	1	42
7	花 栗	昭52. 4. 1	5月24日	156	5	157	4	173	5								5	2	491	16	1	1	1	25	1		1		30
8	両 新	田昭54. 4. 1	5月4日	178	5	168	5	175	5								6	2	527	17	1	1		28	1		1		32
9	新 田	昭55. 4. 1	7月1日	180	5	198	5	184	5								5	1	567	16	1	1	1	24	1		1		29
10	青 柳	昭56. 4. 1	7月7日	121	4	159	4	164	5								4	1	448	14	1	1		24	1		1		28
11	松 江	昭60. 4. 1	6月27日	144	4	134	4	180	5								9	2	467	15	1	1		25	1	1	1		30
計				2,057	59	2,071	56	2,165	60								87	22	6,380	197	11	11	3	324	11	3	14	3	380

小・中学校施設状況

(平成28年4月1日現在)

No.	学 校 名	校地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	全教室数 (保有教室数)	屋内運動場 (㎡)	プール面積 (水面積) (㎡)	グラウンド 面積 (㎡)
1	草加小学校	14,200	5,393	33	890	375	7,620
2	高砂小学校	25,357	11,697	43	1,475	385	8,088
3	新田小学校	15,032	6,017	35	901	385	7,058
4	谷塚小学校	17,311	8,603	40	985	390	6,260
5	栄小学校	19,081	8,600	38	938	385	9,304
6	川柳小学校	22,971	5,761	30	899	385	10,415
7	瀬崎小学校	16,602	5,211	32	916	375	6,788
8	西町小学校	18,909	6,703	33	922	375	7,136
9	新里小学校	15,189	6,432	36	897	375	5,756
10	花栗南小学校	15,666	5,800	29	883	375	6,969
11	八幡小学校	22,735	8,059	43	908	375	9,626
12	新栄小学校	16,500	5,989	29	888	375	7,628
13	清門小学校	14,837	7,121	45	902	375	7,473
14	稲荷小学校	16,324	4,858	26	902	375	8,647
15	氷川小学校	16,430	6,780	34	949	375	7,746
16	八幡北小学校	15,441	6,055	30	934	350	8,746
17	長栄小学校	16,029	5,429	26	860	350	7,496
18	青柳小学校	12,888	4,708	27	1,121	350	6,039
19	小山小学校	14,123	4,991	27	936	350	8,656
20	両新田小学校	14,568	4,996	27	936	350	8,095
21	松原小学校	18,338	8,009	29	851	345	7,635
計		358,531	137,212	692	19,893	7,775	158,576
1	草加中学校	21,506	5,755	36	2,095	425	7,448
2	栄中学校	26,479	5,803	30	899	325	15,153
3	谷塚中学校	22,591	7,505	37	897	375	9,471
4	川柳中学校	20,180	5,156	30	852	325	7,364
5	新栄中学校	15,819	6,005	34	919	375	6,291
6	瀬崎中学校	17,702	6,055	34	945	325	9,943
7	花栗中学校	17,078	6,674	32	891	325	8,599
8	両新田中学校	17,564	5,740	28	936	325	12,067
9	新田中学校	17,581	6,664	28	939	325	9,647
10	青柳中学校	17,063	6,651	31	930	325	8,598
11	松江中学校	17,302	6,992	29	800	325	9,383
計		210,865	69,000	349	11,103	3,775	103,964

平成 2 8 年度 草加の教育

平成 2 8 年 7 月 発行

編 集 草加市教育委員会総務企画課

発 行 草加市教育委員会

草加市高砂一丁目 1 番 1 号

T E L 0 4 8 - 9 2 2 - 0 1 5 1 (代)

F A X 0 4 8 - 9 2 8 - 1 1 7 8



草加せんべいマスコット
「パリポリくん」